aws

<sup>ユーザーガイド</sup> AWS サインイン



Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

# AWS サインイン: ユーザーガイド

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスはAmazon 以外の製品およびサービスに使用することはできま せん。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使 用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、 関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

# Table of Contents

AWS サインインとは	. 1
用語	. 1
管理者	2
アカウント	. 2
認証情報	. 2
企業認証情報	2
プロファイル	3
ルートユーザーの認証情報	. 3
ユーザー	. 3
検証コード	. 3
利用可能なリージョン	. 3
サインインイベント	4
ユーザータイプを決定する	. 4
ルートユーザー	. 5
IAM ユーザー	. 5
IAM アイデンティセンター	6
フェデレーティッドアイデンティティ	. 7
AWS Builder ID ユーザー	7
サインイン URL を決定する	. 7
AWS アカウント ルートユーザーのサインイン URL	. 8
AWS アクセスポータル	. 8
IAM ユーザーのサインイン URL	. 9
フェデレーティッドアイデンティティ URL	9
AWS ビルダー ID URL	9
許可リストに追加するドメイン	10
AWS 許可リストへのドメインのサインイン	10
AWS アクセスポータル 許可リストのドメイン	10
AWS ビルダー ID 許可リストのドメイン	11
セキュリティに関するベストプラクティス	11
にサインインする AWS Management Console	13
ルートユーザーとしてサインインする	14
ルートユーザーとしてサインインする	14
追加情報	17
IAM ユーザーとしてサインインする	17

IAM ユーザーとしてサインインするには	18
AWS アクセスポータルにサインインする	19
AWS アクセスポータルにサインインします。	19
追加情報	20
を使用してサインインする AWS Command Line Interface	. 22
追加情報	22
フェデレーティッドアイデンティティとしてのサインイン	. 23
でサインインする AWS ビルダー ID	24
利用可能なリージョン	. 25
を作成する AWS ビルダー ID	26
信頼されたデバイス	27
AWS ツールとサービス	27
プロファイルの編集	28
パスワードの変更	29
すべてのアクティブなセッションを削除する	30
を削除する AWS ビルダー ID	31
多要素認証 (MFA) の管理	32
使用可能な MFA タイプ	. 33
AWS ビルダー ID MFA デバイスを登録する	35
セキュリティキーを AWS ビルダー ID MFA デバイスとして登録する	36
AWS ビルダー ID MFA デバイスの名前を変更する	. 37
MFA デバイスの削除	. 37
プライバシーとデータ	. 37
AWS ビルダー ID データをリクエストする	38
AWS ビルダー ID およびその他の AWS 認証情報	38
が既存の IAM アイデンティティセンター ID にどのように AWS ビルダー ID 関連している	
か	39
複数の AWS ビルダー ID プロファイル	39
からサインアウトする AWS	. 40
からサインアウトする AWS Management Console	40
AWS アクセスポータルからのサインアウト	. 41
AWS Builder ID からサインアウトする	. 42
サインインに関する問題 AWS アカウント のトラブルシューティング	. 44
AWS Management Console 認証情報が機能しない	45
ルートユーザーのパスワードリセットが必要	46
AWS アカウントアカウントの E メールにアクセスできない	47

MFA デバイスの紛失および故障時の対応	. 47
AWS Management Console サインインページにアクセスできない	48
AWS アカウント ID またはエイリアスを確認する方法	49
アカウント検証コードが必要	51
AWS アカウントのルートユーザーパスワードを忘れてしまった	51
AWS アカウントの IAM ユーザーパスワードを忘れてしまいました。	54
のフェデレーション ID パスワードを忘れてしまいました AWS アカウント	56
既存の にサインインできず AWS アカウント 、同じ E メールアドレス AWS アカウント で新	
しい を作成できない	56
利用停止中の AWS アカウントを再度有効にする必要があります	56
サインインの問題 サポート については、 に連絡する必要があります	. 57
請求の問題 AWS Billing については、 に連絡する必要があります	57
小売注文について質問があります	57
の管理に関するヘルプが必要です AWS アカウント	57
AWS アクセスポータルの認証情報が機能しない	57
の IAM Identity Center パスワードを忘れてしまいました AWS アカウント	58
サインインしようとすると「It's not you, it's us」というエラーが表示される	61
AWS Builder ID の問題のトラブルシューティング	62
メールアドレスが既に使われています	62
メールの確認を完了させることができない	63
サインインしようとすると「It's not you, it's us」というエラーが表示される	63
パスワードを忘れてしまいました	64
新しいパスワードを設定できない	64
パスワードが機能しません。	64
パスワードが機能せず、 AWS ビルダー ID の E メールアドレスに送信された E メールにアク	
セスできなくなる	65
MFA を有効にできない	65
認証アプリケーションを MFA デバイスとして追加できない	65
MFA デバイスを削除できない	65
認証アプリケーションを使用して登録やサインインをしようとすると、「予期しないエラーが	
発生しました」というメッセージが表示されます	66
AWS Builder ID にサインインしようとすると、「It's not you, it's us」というメッセージが表示	
されます。	66
サインアウトしても完全にサインアウトされない	66
まだ問題を解決しようとしています	. 66
ドキュメント履歴	67

lxix
------

# AWS サインインとは

このガイドは、ユーザーのタイプに応じて、Amazon Web Services (AWS) にサインインするさまざ まな方法を理解するのに役立ちます。ユーザータイプとアクセスする AWS リソースに基づいてサイ ンインする方法の詳細については、次のいずれかのチュートリアルを参照してください。

- ・ にサインインする AWS Management Console
- AWS アクセスポータルにサインインする
- フェデレーティッドアイデンティティとしてのサインイン
- を使用してサインインする AWS Command Line Interface
- ・ でサインインする AWS ビルダー ID

へのサインインに問題がある場合は AWS アカウント、「」を参照してください<u>サインインに関する</u> <u>問題 AWS アカウント のトラブルシューティング</u>。のヘルプについては、 AWS ビルダー ID 「」を 参照してください<u>AWS Builder ID の問題のトラブルシューティング</u>。を作成する場合 AWS アカウ ント<u>にサインアップします AWS</u>。へのサインアップ AWS がユーザーまたは組織にどのように役立 つかの詳細については、「お問い合わせ」を参照してください。

トピック

- 用語
- AWS サインインの利用可能なリージョン
- サインインイベントのログ記録
- ユーザータイプを決定する
- ・ <u>サインイン URL を決定する</u>
- 許可リストに追加するドメイン
- AWS アカウント 管理者向けのベストプラクティス

# 用語

Amazon Web Services (AWS) では、<u>一般的な用語</u>を使用してサインインプロセスを説明していま す。これらの用語を読んで理解することをお勧めします。

### 管理者

AWS アカウント 管理者または IAM 管理者とも呼ばれます。管理者 (通常は情報技術 (IT) 担当者) は、 AWS アカウントを監督する個人です。管理者は、組織の他のメンバーよりも AWS アカウント に対して高いレベルの権限を持っています。管理者は、 の設定を確立して実装します AWS アカウ ント。また、IAM または IAM アイデンティティセンターのユーザーを作成します。管理者はこれら のユーザーにアクセス認証情報と AWSにサインイン用のサインイン URL を提供します。

### アカウント

標準には、 AWS リソースと、それらのリソースにアクセスできる ID の両方 AWS アカウント が 含まれます。アカウントは、アカウント所有者の E メールアドレスとパスワードに関連付けられま す。

#### 認証情報

アクセス認証情報またはセキュリティ認証情報とも呼ばれます。認証および認可を実行する際にシス テムは、誰が呼び出しをしているかを特定し、リクエストされたアクセスを許可するかどうかを決定 するために認証情報を使用します。認証情報は、ユーザーがサインインして AWS リソースにアクセ ス AWS するために に提供する情報です。人間のユーザーの認証情報には、メールアドレス、ユー ザー名、ユーザー定義のパスワード、アカウント ID またはエイリアス、検証コード、および単回使 用の多要素認証 (MFA) コードが含まれます。プログラムによるアクセスには、アクセスキーを使用 することもできます。可能な場合は、短期のアクセスキーの使用をお勧めします。

認証情報の詳細については、「AWS セキュリティ認証情報」を参照してください。

í) Note

ユーザーが送信しなければならない認証情報の種類は、ユーザータイプによって異なりま す。

#### 企業認証情報

ユーザーが企業ネットワークやリソースにアクセスする際に提供する認証情報。社内管理者は、社 内ネットワークとリソースへのアクセスに使用する AWS アカウント のと同じ認証情報を使用する ように を設定できます。これらの認証情報は、管理者またはヘルプデスクの従業員から提供されま す。

## プロファイル

AWS Builder ID にサインアップすると、プロファイルが作成されます。プロファイルには、指定し た連絡先情報、多要素認証 (MFA) デバイスとアクティブなセッションを管理する機能が含まれま す。また、プライバシーやデータの取り扱い方法については、プロフィールをご覧ください。プロ フィールとそれがどのように AWS アカウントと関連しているかについての詳細は、「<u>AWS ビル</u> ダー ID およびその他の AWS 認証情報」を参照してください。

### ルートユーザーの認証情報

ルートユーザーの認証情報は、AWS アカウントの作成に使用したメールアドレスとパスワードで す。セキュリティを強化するために、ルートユーザーの認証情報に MFA を追加することを強くお勧 めします。ルートユーザー認証情報は、アカウント内の全ての AWS サービスとリソースへの完全な アクセス権を提供します。 ルートユーザー の詳細については、「<u>ルートユーザー</u>」を参照してくだ さい。

### ユーザー

ユーザーは、 製品への API コール AWS や AWS リソースへのアクセス権限を持つユーザーまたは アプリケーションです。各ユーザーには、他のユーザーと共有されない一連の固有のセキュリティ 認証情報があります。これらの認証情報は、 AWS アカウントのセキュリティ認証情報とは異なりま す。詳細については、「ユーザータイプを決定する」を参照してください。

### 検証コード

認証コードは、<u>多要素認証 (MFA) を使用して</u>サインインプロセス中にユーザーアイデンティティを 確認します。認証コードの配信方法はさまざまです。テキストメッセージまたは E メールで送信で きます。詳細については、管理者に確認してください。

## AWS サインインの利用可能なリージョン

AWS サインインは、一般的に使用されるいくつかの で使用できます AWS リージョン。この可用性 により、 AWS サービスやビジネスアプリケーションに簡単にアクセスできます。サインインがサ ポートするリージョンの完全なリストについては、「<u>AWS サインインエンドポイントとクォータ</u>」 を参照してください。

# サインインイベントのログ記録

CloudTrail は で自動的に有効 AWS アカウント になり、アクティビティが発生したときにイベント を記録します。以下のリソースは、サインインイベントのログ記録とモニタリングの詳細を学習する のに役立ちます。

- CloudTrail は へのサインインをログに記録します AWS Management Console。すべての IAM ユーザー、ルートユーザー、フェデレーションユーザーのサインインイベントは、CloudTrail ロ グファイルに記録を生成します。詳細については、「AWS CloudTrail ユーザーガイド」の「<u>AWS</u> <u>Management Console サインインイベント</u>」を参照してください。
- リージョンエンドポイントを使用して にサインインすると AWS Management Console、CloudTrail はエンドポイントの適切なリージョンにConsoleLoginイベントを記録しま す。AWS サインインエンドポイントの詳細については、 AWS 全般のリファレンスガイド<u>AWS</u>の「サインインエンドポイントとクォータ」を参照してください。
- CloudTrail が IAM Identity Center のサインインイベントを記録する方法の詳細については、「IAM Identity Center ユーザーガイド」の「<u>IAM Identity Center サインインイベントを理解する</u>」を参照 してください。
- CloudTrail が IAM でさまざまなユーザー ID 情報をログに記録する方法の詳細については、「 AWS Identity and Access Management ユーザーガイド」の「<u>を使用した IAM および AWS STS</u> API コールのログ記録 AWS CloudTrail」を参照してください。

# ユーザータイプを決定する

サインイン方法は、ユーザーの種類によって異なります AWS 。 AWS アカウント は、ルートユー ザー、IAM ユーザー、IAM アイデンティティセンターでのユーザー、またはフェデレーティッドア イデンティティとして管理できます。 AWS Builder ID プロファイルを使用して、特定の AWS サー ビスやツールにアクセスできます。さまざまなユーザータイプを以下に示します。

トピック

- ルートユーザー
- IAM ユーザー
- IAM アイデンティセンター
- フェデレーティッドアイデンティティ
- ・ AWS Builder ID ユーザー

### ルートユーザー

アカウントオーナーまたはアカウントルートユーザーとも呼ばれます。ルートユーザーとして、の すべての AWS サービスとリソースへの完全なアクセス権があります AWS アカウント。を初めて作 成するときは AWS アカウント、アカウント内のすべての AWS サービスとリソースへの完全なア クセス権を持つシングルサインインアイデンティティから始めます。この ID は AWS アカウントの ルートユーザーです。アカウントの作成に使用したメールアドレスとパスワードを使用して、ルー トユーザーとしてサインインできます。ルートユーザーは <u>AWS Management Console</u> の方法でサイ ンインします。サインインの手順については、「<u>ルートユーザー AWS Management Console として</u> にサインインする」を参照してください。

#### ▲ Important

を作成するときは AWS アカウント、アカウント内のすべての およびリソースへの AWS の サービス 完全なアクセス権を持つ 1 つのサインインアイデンティティから始めます。この ID は AWS アカウント ルートユーザーと呼ばれ、アカウントの作成に使用した E メールア ドレスとパスワードでサインインすることでアクセスできます。日常的なタスクには、ルー トユーザーを使用しないことを強くお勧めします。ルートユーザーの認証情報は保護し、 ルートユーザーでしか実行できないタスクを実行するときに使用します。ルートユーザーと してサインインする必要があるタスクの完全なリストについては、「IAM ユーザーガイド」 の「<u>ルートユーザー認証情報が必要なタスク</u>」を参照してください。

ルート・ユーザを含む IAM アイデンティティの詳細については、「<u>IAM アイデンティ (ユーザー、</u> ユーザーグループ、ロール)」を参照してください。

#### IAM ユーザー

IAM ユーザーは、 AWSで作成したエンティティです。このユーザーは、特定のカスタムアクセ ス権限を持つ AWS アカウント 内のアイデンティティです。 IAM ユーザー認証情報は、<u>AWS</u> <u>Management Console</u> へのサインインに使用される名前とパスワードで構成されます。サインイン の手順については、「<u>IAM ユーザー AWS Management Console として にサインインする</u>」を参照 してください。

IAM ユーザを含むIAM アイデンティティの詳細については、「<u>IAM アイデンティ (ユーザー、ユー</u> ザーグループ、ロール)」を参照してください。

## IAM アイデンティセンター

IAM Identity Center ユーザーは のメンバーであり AWS Organizations 、 AWS アクセスポータルを 通じて複数の AWS アカウント およびアプリケーションへのアクセスを許可できます。会社が アク ティブディレクトリ または別のアイデンティティプロバイダーを IAM アイデンティティセンター と統合している場合、IAM アイデンティティセンターのユーザーは会社の認証情報を使用してサイ ンインできます。IAM アイデンティティセンターは、管理者がユーザーを作成できるアイデンティ ティプロバイダーにもなります。ID プロバイダーに関係なく、IAM Identity Center のユーザーは、 組織の特定のサインイン URL である AWS アクセスポータルを使用してサインインします。IAM ア イデンティティセンターのユーザーが AWS Management Console の URL からサインインできな い。

IAM Identity Center のヒューマンユーザーは、次のいずれかから AWS アクセスポータル URL を取 得できます。

- 管理者またはヘルプデスクの従業員からのメッセージ
- ・ IAM Identity Center への参加招待 AWS を含む からの E メール

🚺 Tip

IAM アイデンティティセンターのサービスによって送信されるすべての E メールは、noreply@signin.aws または no-reply@login.awsapps.com のアドレスから送信されます。これ らの送信者メールアドレスからのメールを受け入れ、迷惑メールやスパムとして処理しない ように、メールシステムを設定することをお勧めします。

サインインの手順については、「AWS アクセスポータルにサインインする」を参照してください。

Note

AWS アクセスポータルには組織の特定のサインイン URL をブックマークして、後でアクセ スできるようにすることをお勧めします。

IAM アイデンティティセンターの詳細については、「<u>IAM アイデンティティセンターとは</u>」を参照 してください。

# フェデレーティッドアイデンティティ

フェデレーティッドアイデンティティとは、よく知られている外部 ID プロバイダー (IdP) (例: Amazon、Facebook、Google などの <u>OpenID Connect (OIDC)</u> 互換の IdP) を使用してサインインで きるユーザーを指します。 ウェブ ID フェデレーションを使用すると、認証トークンを受け取り、 そのトークンを の一時的なセキュリティ認証情報と交換できます。 AWS この認証情報は、 のリ ソースを使用するアクセス許可を持つ IAM ロールにマッピングされます AWS アカウント。 AWS Management Console または AWS アクセスポータルでサインインすることはありません。代わり に、使用している外部アイデンティティによってサインイン方法が決まります。

詳細については、「<u>フェデレーティッドアイデンティティとしてのサインイン</u>」を参照してくださ い。

### AWS Builder ID ユーザー

AWS Builder ID ユーザーとして、アクセスする AWS サービスまたはツールに特にサインインしま す。 AWS Builder ID ユーザーは、既に持ってい AWS アカウント る、または作成する を補完しま す。 AWS Builder ID はユーザーを表し、それを使用して なしで AWS サービスやツールにアクセス できます AWS アカウント。また、情報を確認したり更新したりできるプロフィールもあります。詳 細については、「でサインインする AWS ビルダー ID」を参照してください。

AWS Builder ID AWS は、 AWS エキスパートから学び、オンラインでクラウドスキルを構築できる オンライン学習センターである Skill Builder サブスクリプションとは別のものです。 AWS スキルビ ルダーの詳細については、AWS 「スキルビルダー」を参照してください。

# サインイン URL を決定する

ユーザーの種類 AWS に応じて、次のいずれかURLs を使用して にアクセスします AWS 。詳細につ いては、「<u>ユーザータイプを決定する</u>」を参照してください。

トピック

- ・ AWS アカウント ルートユーザーのサインイン URL
- AWS アクセスポータル
- ・ IAM ユーザーのサインイン URL
- フェデレーティッドアイデンティティ URL
- ・ AWS ビルダー ID URL

## AWS アカウント ルートユーザーのサインイン URL

ルートユーザーは、 AWS サインインページ AWS Management Console から にアクセスしま すhttps://console.aws.amazon.com/ 。

このサインインページには、IAM ユーザーとしてサインインするオプションもあります。

AWS アクセスポータル

AWS アクセスポータルは、IAM Identity Center のユーザーがサインインしてアカウントにアクセス するための特定のサインイン URL です。管理者が IAM Identity Center でユーザーを作成すると、管 理者は、ユーザーが IAM Identity Center への招待メールを受信するか、管理者またはヘルプデスク の従業員からワンタイムパスワードと AWS アクセスポータル URL を含むメッセージを受信するか を選択します。特定のサインイン URL の形式は、次の例のようになります。

```
https://d-xxxxxxxx.awsapps.com/start
```

or

https://your\_subdomain.awsapps.com/start

特定のサインイン URL は、管理者がカスタマイズできるため異なります。特定のサインイン URL は D で始まり、その後に 10 個のランダムな数字と文字が続く場合があります。次の例のように、サ インイン URL にサブドメインを使用して会社名を含めることもできます。

AWS Management Console × +	-	- 0
→ C ● https://AnyCompany.awsapps.com/start	G   @	¢
Contact Us Support + English + My Account + Products Solutions Pricing Documentation Learn Partner Network AWS Marketplace Customer Enablement Events Explore Mor	Sign In Create an AWS Account	S Account
AWS Free Tier Overview FAQs Terms and Conditions		

Note

アクセス AWS ポータルの特定のサインイン URL をブックマークして、後でアクセスできる ようにすることをお勧めします。

AWS アクセスポータルの詳細については、<u>AWS 「 アクセスポータルの使用</u>」を参照してくださ い。

## IAM ユーザーのサインイン URL

IAM ユーザーは、特定の IAM ユーザーのサインイン URL AWS Management Console を使用して に アクセスできます。IAM ユーザーのサインイン URL は、 AWS アカウント ID またはエイリアスと signin.aws.amazon.com/console

IAM ユーザーのサインイン URL の例:

https://account\_alias\_or\_id.signin.aws.amazon.com/console/

アカウント ID が 111122223333 の場合、サインイン URL は次のようになります。

🚽 🥮 AWS	5 Managen	nent Console	× +									- 0
$\rightarrow$	C	https:/	/ <mark>1111222</mark>	23333	.signin.aws.a	mazon.com/o	console/					G 🛛 🕀
Products	Solutio	ns Pricing	Documentatio	n Learn	Partner Network	AWS Marketplace	Contact Us Sup Customer Enal	pport <del>•</del> blement	English <del>•</del> Events	My Account - Explore More	Sign In 🌔	Create an AWS Account
AW	/S Free T	er Ov	rview FAQs	Terms ar	d Conditions							

IAM ユーザーのサインイン URL AWS アカウント を使用して にアクセスする際に問題が発生した場合は、「の耐障害性 AWS Identity and Access Management」を参照してください。

## フェデレーティッドアイデンティティ URL

フェデレーティッドアイデンティティのサインイン URL はさまざまです。外部アイデンティ ティまたは外部 ID プロバイダー (IdP) は、フェデレーティッドアイデンティティのサインイン URL を決定します。外部アイデンティティは、Windows アクティブディレクトリ、Login with Amazon、Facebook、または Google のいずれかです。フェデレーション ID としてサインインする 方法の詳細については、管理者にお問い合わせください。

フェデレーティッドアイデンティティの詳細については、「<u>ウェブ ID フェデレーションについて</u>」 を参照してください

### AWS ビルダー ID URL

AWS Builder ID プロファイルの URL は です<u>https://profile.aws.amazon.com/</u>。 AWS Builder ID を 使用する場合、サインイン URL はアクセスするサービスによって異なります。たとえば、Amazon CodeCatalyst にサインインするには、「https://codecatalyst.aws/login」を参照してください。

# 許可リストに追加するドメイン

次世代ファイアウォール (NGFW) や Secure Web Gateway (SWG) などのウェブコンテンツフィルタ リングソリューションを使用して特定の AWS ドメインまたは URL エンドポイントへのアクセスを フィルタリングする場合は、次のドメインまたは URL エンドポイントをウェブコンテンツフィルタ リングソリューションの許可リストに追加する必要があります。

## AWS 許可リストへのドメインのサインイン

お客様またはお客様の組織が IP またはドメインフィルタリングを実装している場合は、ドメイン の許可リストによる の使用が必要になる場合があります AWS Management Console。次のドメ インは、 にアクセスしようとしているネットワークでアクセス可能である必要があります AWS Management Console。

- [Region].signin.aws
- [Region].signin.aws.amazon.com
- signin.aws.amazon.com
- \*.cloudfront.net
- opfcaptcha-prod.s3.amazonaws.com

## AWS アクセスポータル 許可リストのドメイン

次世代ファイアウォール (NGFW) や Secure Web Gateway (SWG) などのウェブコンテンツフィルタ リングソリューションを使用して特定の AWS ドメインまたは URL エンドポイントへのアクセスを フィルタリングする場合は、次のドメインまたは URL エンドポイントをウェブコンテンツフィルタ リングソリューションの許可リストに追加する必要があります。これにより、 にアクセスできます AWS アクセスポータル。

- [Directory ID or alias].awsapps.com
- \*.aws.dev
- \*.awsstatic.com
- \*.console.aws.a2z.com
- oidc. [Region].amazonaws.com
- \*.sso.amazonaws.com
- \*.sso.[Region].amazonaws.com

• \*.sso-portal.[Region].amazonaws.com

## AWS ビルダー ID 許可リストのドメイン

お客様またはお客様の組織が IP またはドメインフィルタリングを実装する場合、ドメインを許可リ ストに登録して、 AWS ビルダー IDを作成して使用する必要があります。以下のドメインは、 AWS ビルダー IDへのアクセスを試みるネットワークでアクセス可能である必要があります。

- view.awsapps.com/start
- \*.aws.dev
- \*.uis.awsstatic.com
- \*.console.aws.a2z.com
- oidc.\*.amazonaws.com
- \*.sso.amazonaws.com
- \*.sso.\*.amazonaws.com
- \*.sso-portal.\*.amazonaws.com
- \*.signin.aws
- \*.cloudfront.net
- opfcaptcha-prod.s3.amazonaws.com
- profile.aws.amazon.com

# AWS アカウント 管理者向けのベストプラクティス

新しい を作成したアカウント管理者の場合は AWS アカウント、ユーザーがサインイン時に AWS セキュリティのベストプラクティスに従うことができるように、次の手順を実行することをお勧めします。

- ルートユーザーとしてサインインして <u>Multi-Factor Authentication (MFA) を有効に</u>し、まだ作成 していない場合<u>は IAM Identity Center で AWS 管理ユーザーを作成します</u>。それから、<u>ルートの</u> 認証情報を保護し、日常的な作業には使わないようにしましょう。
- 2. AWS アカウント 管理者としてサインインし、次の ID を設定します。
  - 他のユーザーのために最小特権ユーザーを作成します。
  - ワークロード用の一時認証情報を設定する。

- アクセスキーは、<u>長期的な認証情報を必要とするユースケース</u>のためにのみ作成してください。
- これらのアイデンティティへのアクセスを許可する権限を追加します。AWS 管理ポリシーの使用を開始し、最小特権のアクセス許可に移行できます。
  - IAM Identity Center (AWS Single Sign-On AWS の後継) ユーザーに権限セットを追加します。
  - ワークロードに使用する IAM ロールにアイデンティティベースのポリシーを追加します。
  - 長期的な認証情報を必要とするユースケースのために <u>IAM ユーザー向けのアイデンティティ</u> ベースのポリシーを追加します。
  - ・ IAM ユーザーの詳細については、<u>IAM のセキュリティのベストプラクティス</u>を参照してくだ さい。
- <u>にサインインする AWS Management Console</u> に関する情報を保存して共有する。この情報は、 作成したアイデンティティのタイプによって異なります。
- 5. アカウントやセキュリティに関する重要な通知を受け取れるように、ルートユーザーのメールア ドレスとプライマリアカウントの連絡先電話番号は常に最新の状態にしておいてください。
  - AWS アカウントのルートユーザーのアカウント名、E メールアドレス、パスワードの変更。
  - プライマリアカウント連絡先のアクセスまたは更新
- アイデンティティとアクセス管理のその他のベストプラクティスについては、「<u>IAM のセキュ</u> <u>リティのベストプラクティス</u>」をご覧ください。

# にサインインする AWS Management Console

メインサインイン URL (<u>https://console.aws.amazon.com/</u>) AWS Management Console から に AWS サインインするときは、ルートユーザーまたは IAM ユーザーのいずれかのユーザータイプを選択す る必要があります。自分がどのようなユーザーか明確でない場合は、「<u>ユーザータイプを決定する</u>」 を参照してください。

<u>ルートユーザー</u>は無制限にアカウントにアクセスでき、 AWS アカウントの作成者と関連付けられて います。次に、ルートユーザーは IAM ユーザーや AWS IAM アイデンティティセンターのユーザー などの他のタイプのユーザーを作成し、アクセス認証情報を割り当てます。

<u>IAM ユーザーは</u>、特定のカスタムアクセス許可 AWS アカウント を持つ 内のアイ デンティティです。IAM ユーザーがサインインすると、メインサインイン URL https://account\_alias\_or\_id.signin.aws.amazon.com/console/の代わりに AWS アカウント または エイリアスを含む AWS サインイン URL を使用できます<u>https://</u> console.aws.amazon.com/ 。

では、1 つのブラウザで最大 5 つの異なる ID に同時にサインインできます AWS Management Console。これらは、異なるアカウントまたは同じアカウントのルートユーザー、IAM ユーザー、ま たはフェデレーティッドロールの組み合わせです。詳細については、「AWS Management Console 入門ガイド」の「複数の入門ガイドアカウントへのサインイン」を参照してください。

チュートリアル

- <u>ルートユーザー AWS Management Console として にサインインする</u>
- IAM ユーザー AWS Management Console として にサインインする

自分がどのようなユーザーか明確でない場合は、「<u>ユーザータイプを決定する</u>」を参照してくださ い。

チュートリアル

- ルートユーザー AWS Management Console として にサインインする
- IAM ユーザー AWS Management Console として にサインインする

# ルートユーザー AWS Management Console として にサインイン する

を初めて作成するときは AWS アカウント、アカウント内のすべての およびリソースへの AWS の サービス 完全なアクセス権を持つ 1 つのサインインアイデンティティから始めます。この ID は AWS アカウント ルートユーザーと呼ばれ、アカウントの作成に使用した E メールアドレスとパス ワードでサインインすることでアクセスできます。

#### A Important

日常的なタスクには、ルートユーザーを使用しないことを強くお勧めします。ルートユー ザーの認証情報は保護し、ルートユーザーでしか実行できないタスクを実行するときに使 用します。ルートユーザーとしてサインインする必要があるタスクの完全なリストについて は、「IAM ユーザーガイド」の「<u>ルートユーザー認証情報が必要なタスク</u>」を参照してくだ さい。

### ルートユーザーとしてサインインする

で別の ID に既にサインインしているときに、ルートユーザーとしてサインインできます AWS Management Console。詳細については、「AWS Management Console 入門ガイド」の「<u>複数の入</u> 門ガイドアカウントへのサインイン」を参照してください。

AWS アカウント を使用した 管理にはルートユーザー認証情報がない AWS Organizations 可能性が あるため、 管理者に連絡してメンバーアカウントでルートユーザーアクションを実行する必要があ ります。ルートユーザーとしてサインインできない場合は、「」を参照してください<u>サインインに関</u> する問題 AWS アカウント のトラブルシューティング。

1. AWS Management Console でを開きます<u>https://console.aws.amazon.com/</u>。

Note

以前にこのブラウザを使用して IAM ユーザーとしてサインインしたことがある場合は、 代わりに IAM ユーザーのサインインページが表示される場合があります。ルートユー ザーの E メールを使用してサインインを選択します。

2. [ルートユーザー]を選択します。



- 3. [ルートユーザーのEメールアドレス]に、ルートユーザーに関連付けられているEメールアドレ スを入力します。[次へ]を選択します。
- セキュリティチェックを完了するように求められたら、表示された文字を入力して続行します。
  セキュリティチェックを完了できない場合は、音声を聞くか、新しい文字セットのセキュリティ チェックを更新してみてください。

🚺 Tip

表示される (または聞こえる) 英数字を、スペースを入れずに順番に入力します。



5. パスワードを入力します。

Root user sign in o					
Email: username@example.com					
Password Forgot password?					
Sign in					
Sign in to a different account					
Create a new AWS account					

6. MFA で認証します。MFA は、デフォルトでルートユーザーに適用されます。スタンドアロン アカウントとメンバーアカウントのルートユーザーの場合、MFA を手動で有効にする必要があ ります。これは強くお勧めします。詳細については、「AWS Identity and Access Management ユーザーガイド<u>」のAWS アカウント「ルートユーザーの多要素認証</u>」を参照してください。

#### 🚺 Tip

セキュリティのベストプラクティスとして、不正使用を防ぐために、AWS 組織内のメ ンバーアカウントからすべてのルートユーザー認証情報を削除することをお勧めしま す。このオプションを選択した場合、メンバーアカウントはルートユーザーとしてサイ ンインしたり、パスワード復旧を実行したり、MFA を設定したりすることはできませ ん。この場合、管理アカウント管理者のみが、メンバーアカウントのルートユーザー認 証情報を必要とするタスクを実行できます。詳細については、AWS Identity and Access Management 「ユーザーガイド」の「メンバーアカウントのルートアクセスを一元管理 する」を参照してください。

7. [サインイン]を選択します。 AWS Management Console が表示されます。

認証後、 AWS Management Console コンソールのホームページが開きます。

### 追加情報

AWS アカウント ルートユーザーに関する詳細情報が必要な場合は、次のリソースを参照してください。

- ルートユーザーの概要については、「AWS アカウント ルートユーザー」を参照してください。
- ルートユーザーの使用の詳細については、<u>AWS アカウント 「ルートユーザーの使用</u>」を参照して ください。
- ルートユーザーのパスワードをリセットする手順については、「<u>AWS アカウントのルートユー</u> ザーパスワードを忘れてしまった」を参照してください。

IAM ユーザー AWS Management Console として にサインインする

IAM ユーザーは、AWS リソースを操作するアクセス許可 AWS アカウント を持つ 内で作成された ID です。IAM ユーザーは、アカウント ID またはエイリアス、ユーザー名、パスワードを使ってサ インインします。IAM ユーザー名は管理者によって設定されます。IAM ユーザー名は、*Zhang* など のわかりやすい名前でも、*zhang@example.com* などの E メールアドレスでもかまいません。IAM ユーザー名にスペースを含めることはできませんが、大文字、小文字、数字、+ = , . @ \_ - な どの記号を使用できます。

#### 🚺 Tip

IAM ユーザーが多要素認証 (MFA) を有効にしている場合は、認証デバイスへのアクセス権が 必要です。詳細については、「<u>IAM サインインページで MFA デバイスを使用する</u>」を参照 してください。

#### IAM ユーザーとしてサインインするには

で別の ID に既にサインインしているときに、IAM ユーザーとしてサインインできます AWS Management Console。詳細については、「AWS Management Console 入門ガイド」の「<u>複数の入</u> 門ガイドアカウントへのサインイン」を参照してください。

- 1. AWS Management Console でを開きますhttps://console.aws.amazon.com/。
- メインサインインページが表示されます。アカウント ID (12 桁) またはエイリアス、IAM ユー ザー名、パスワードを入力します。

Note

現在のブラウザで IAM ユーザーとして以前にサインインしたことがある場合、またはア カウントのサインイン URL を使用している場合は、アカウント ID やエイリアスを入力 する必要がない場合があります。

- 3. [サインイン]を選択します。
- IAM ユーザーに対して MFA が有効になっている場合、 は認証ツールで ID を確認 AWS する必要があります。詳細については、「<u>AWSで多要素認証 (MFA) を使用する</u>」を参照してください。

認証後、 AWS Management Console コンソールのホームページが開きます。

#### 追加情報

IAM ユーザーの詳細については、以下のリソースを参照してください。

- IAM の概要については、「<u>アイデンティティとアクセス</u>管理とは」を参照してください。
- ・ AWS アカウント IDs<u>「 AWS アカウント ID とそのエイリアス</u>」を参照してください。
- IAM ユーザーパスワードをリセットする方法の手順については、「<u>AWS アカウントの IAM ユー</u> <u>ザーパスワードを忘れてしまいました。</u>」を参照してください。

# AWS アクセスポータルにサインインする

IAM Identity Center のユーザーは のメンバーです AWS Organizations。IAM Identity Center のユー ザーは、特定のサインイン URL を使用して AWS アクセスポータルにサインインすることで、複数 の AWS アカウント およびビジネスアプリケーションにアクセスできます。特定のサインイン URL の詳細については、「AWS アクセスポータル」を参照してください。

IAM Identity Center のユーザー AWS アカウント として にサインインする前に、次の必須情報を収 集します。

- 企業ユーザー名
- 企業パスワード
- ・ 特定のサインイン URL

Note

サインイン後、 AWS アクセスポータルセッションは 8 時間有効です。8 時間後に再度サイ ンインする必要があります。

# AWS アクセスポータルにサインインします。

- ブラウザのウィンドウに、https://your\_subdomain.awsapps.com/startのような電子 メールで提供されたサインイン URL を貼り付けます。次に、エンター キーを押します。
- 2. 企業認証情報 (ユーザー名とパスワードなど) を使ってサインインします。

#### Note

管理者から E メールでワンタイムパスワード (OTP) が送信され、初めてサインインする 場合は、そのパスワードを入力します。サインインしたら、今後のサインイン用に新し いパスワードを作成する必要があります。

3. 認証コードの入力を求められた場合は、Eメールを確認してください。次に、コードをコピーし てサインインページに貼り付けてください。 (i) Note

認証コードは通常、E メールで送信されますが、配信方法が異なる場合があります。E メールで認証コードを受け取っていない場合は、管理者に認証コードの詳細を確認して ください。

- IAM アイデンティティセンターでユーザーの MFA が有効になっている場合は、それを使用して 認証します。
- 認証後、ポータルに表示される任意の AWS アカウント およびアプリケーションにアクセスで きます。
  - a. にサインインするには、 AWS Management Console アカウントタブを選択し、管理する 個々のアカウントを選択します。

ユーザーのロールが表示されます。アカウントのロール名を選択して AWS Management Consoleを開きます。アクセスキーを選択して、コマンドラインまたはプログラムによるア クセスの認証情報を取得します。

 b. [アプリケーション] タブを選択して使用可能なアプリケーションを表示し、アクセスするア プリケーションのアイコンを選択します。

IAM アイデンティティセンターにユーザーとしてサインインすると、セッションと呼ばれる一定の 期間、リソースにアクセスするための認証情報が提供されます。デフォルトでは、ユーザーが AWS アカウント にサインインできる時間は 8 時間です。IAM Identity Center 管理者は、最小 15 分から最 大 90 日までの期間を指定できます。セッションが終了した後は、再びサインインできます。

### 追加情報

IAM アイデンティティセンターのユーザーについての情報は、以下のリソースを参照してください。

- IAM アイデンティティセンターの概要については、「<u>IAM アイデンティティセンターとは</u>」を参 照してください。
- ・ AWS アクセスポータルの詳細については、<u>AWS 「 アクセスポータルの使用</u>」を参照してくださ い。
- IAM アイデンティティセンターのセッションの詳細については、「<u>ユーザー認証</u>」を参照してく ださい。

- ・ IAM アイデンティティセンターのユーザーパスワードをリセットする手順については、「<u>の IAM</u> <u>Identity Center パスワードを忘れてしまいました AWS アカウント</u>」を参照してください。
- お客様またはお客様の組織が IP またはドメインフィルタリングを実装している場合、 AWS アクセスポータルを作成および使用するドメインの許可リストが必要になる場合があります。ドメインの許可リストの詳細については、「」を参照してください許可リストに追加するドメイン。

# を使用してサインインする AWS Command Line Interface

AWS Command Line Interfaceを使用する予定がある場合は、IAM アイデンティティセンターでユー ザーを設定することをお勧めします。 AWS アクセスポータルのユーザーインターフェイスを使用す ると、IAM Identity Center ユーザーは を簡単に選択 AWS アカウント し、 AWS CLI を使用して一時 的なセキュリティ認証情報を取得できます。これらの認証情報を取得する方法の詳細については、 「<u>のリージョンの可用性 AWS ビルダー ID</u>」を参照してください。IAM Identity Center でユーザーを 認証するように AWS CLI を直接設定することもできます。

IAM アイデンティティセンターの認証情報 AWS CLI を使用して からサインインするには

- 前提条件を満たしていることを確認してください。
- 初めてサインインする場合は、<u>aws configure sso ウィザードを使用してプロファイルを設定</u> してください。
- プロファイルを設定したら、次のコマンドを実行して、ターミナルのプロンプトに従います。

\$ aws sso login --profile my-profile

## 追加情報

コマンドラインを使ったサインインについて詳しく知りたい場合は、以下のリソースを参照してくだ さい。

- IAM Identity Center 認証情報の使用の詳細については、「<u>AWS CLI または AWS SDKs</u>」を参照してください。
- 設定の詳細については、<u>「IAM Identity Center を使用する AWS CLI ように を設定する</u>」を参照してください。
- サインインプロセスの詳細については、AWS CLI <u>「サインインと認証情報の取得</u>」を参照してく ださい。

# フェデレーティッドアイデンティティとしてのサインイン

フェデレーティッド ID は、外部 ID を持つ安全な AWS アカウント リソースにアクセスできるユー ザーです。外部認証は、企業のアイデンティティストア (LDAP や Windows の Active Directory など) またはサードパーティー (Login with Amazon、Facebook、または Google でのログインなど) から取 得できます。フェデレーティッド ID は、 AWS Management Console または AWS アクセスポータ ルでサインインしません。使用する外部アイデンティティのタイプによって、フェデレーション ID のサインイン方法が決まります。

管理者は、https://signin.aws.amazon.com/federation を含むカスタム URL を作成する 必要があります。詳細については、「<u>AWS Management Consoleへのカスタムアイデンティティブ</u> ローカーアクセスの有効化」を参照してください。

#### Note

管理者はフェデレーション ID を作成します。フェデレーション ID としてサインインする方 法の詳細については、管理者にお問い合わせください。

フェデレーティッドアイデンティティの詳細については、「<u>ウェブ ID フェデレーションについて</u>」 を参照してください

# でサインインする AWS ビルダー ID

AWS ビルダー ID は、<u>Amazon CodeCatalyst</u>、Amazon <u>Q Developer</u>、<u>AWS トレーニング</u> <u>Certification</u> などの一部のツールやサービスへのアクセスを提供する個人プロファイルです。 はユー ザーを個人として AWS ビルダー ID 表し、既存の AWS アカウントにある認証情報やデータから独 立しています。他の個人プロファイルと同様に、 は、個人、教育、キャリアの目標を進めながら、 お客様と共に AWS ビルダー ID 残ります。

は、すでに所有 AWS アカウント している、または作成する可能性のあるものを AWS ビルダー ID 補完します。 AWS アカウント は、作成した AWS リソースのコンテナとして機能し、それらのリ ソースのセキュリティ境界を提供しますが、 はユーザーを個人として AWS ビルダー ID 表します。 詳細については、「AWS ビルダー ID およびその他の AWS 認証情報」を参照してください。

AWS ビルダー ID は無料です。で消費する AWS リソースに対してのみ料金が発生します AWS アカ ウント。料金の詳細については、「AWS 料金表」を参照してください。

お客様またはお客様の組織が IP またはドメインフィルタリングを実装する場合、ドメインを許可リ ストに登録して、 AWS ビルダー IDを作成して使用する必要があります。ドメインの許可リストの 詳細については、「」を参照してください許可リストに追加するドメイン。

Note

AWS Builder ID AWS は、 AWS エキスパートから学び、クラウドスキルをオンラインで構築できるオンライン学習センターである Skill Builder サブスクリプションとは別のものです。 AWS スキルビルダーの詳細については、<u>AWS 「スキルビルダー</u>」を参照してください。

でサインインするには AWS ビルダー ID

- 1. アクセスする AWS ツールまたはサービスの<u>AWS ビルダー ID プロファイル</u>またはサイン インページに移動します。例えば、Amazon CodeCatalyst にサインインするには、<u>https://</u> codecatalyst.aws にアクセスして [サインイン] を選択します。
- 2. E メールアドレスに、 AWS ビルダー IDを作成時に使用した E メールを入力し、[次へ] を選択し ます。
- (オプション) このデバイスから今後のサインインしたときに追加の確認を求められないようにするには、[信頼できるデバイスです]の横にあるボックスをチェックします。

Note

セキュリティのため、ログインブラウザ、場所、デバイスを分析します。このデバイスを 信頼していると報告した場合、サインインするたびに多要素認証 (MFA) コードを入力す る必要はありません。詳細については、「信頼されたデバイス」を参照してください。

- 4. [パスワードの入力] ページで、[パスワード] を入力し、[サインイン] を選択します。
- 5. [追加認証が必要] ページが表示された場合は、ブラウザの指示に従って必要なコードまたはセ キュリティキーを入力してください。

トピック

- のリージョンの可用性 AWS ビルダー ID
- を作成する AWS ビルダー ID
- AWS を使用するツールとサービス AWS ビルダー ID
- AWS ビルダー ID プロファイルを編集する
- AWS ビルダー ID パスワードを変更する
- AWS ビルダー IDのすべてのアクティブなセッションを削除する
- を削除する AWS ビルダー ID
- AWS ビルダー ID 多要素認証 (MFA) を管理する
- のプライバシーとデータ AWS ビルダー ID
- ・ AWS ビルダー ID およびその他の AWS 認証情報

### のリージョンの可用性 AWS ビルダー ID

AWS ビルダー ID は、以下で利用できます AWS リージョン。を使用するアプリケーションは AWS ビルダー ID 、他のリージョンで動作する可能性があります。

名前

Code

米国東部 (バージニア北部)

us-east-1

# を作成する AWS ビルダー ID

を使用する AWS ツールやサービスのいずれかにサインアップ AWS ビルダー ID するときに、 を作 成します。 AWS ツールまたはサービスのサインアッププロセスの一環として、E メールアドレス、 名前、パスワードを使用してサインアップします。

パスワードは以下の条件を満たす必要があります。

- パスワードでは、大文字と小文字が区別されます。
- ・パスワードの長さは8文字から64文字の間でなければなりません。
- パスワードには、次の4つカテゴリから少なくとも1文字を含める必要があります。
  - 小文字 a~z
  - 大文字 A~Z
  - 数字(0~9)
  - 英数字以外の文字 (~!@#\$%^&\*\_-+=`|\(){}]:;""<>,.?/)
- ・ 最後の3つのパスワードは再使用できません。
- 第三者から漏洩したデータセットを通じて公に知られているパスワードは使用できません。
  - Note

を使用するツールとサービスは、 AWS ビルダー ID 必要に応じて を作成して使用する AWS ビルダー ID ように指示します。

を作成するには AWS ビルダー ID

- アクセスする AWS ツールまたはサービスの<u>AWS ビルダー ID プロファイル</u>またはサイン アップページに移動します。例えば、Amazon CodeCatalyst にサインインするには、<u>https://</u> <u>codecatalyst.aws</u> にアクセスします。
- 2. [AWS ビルダー IDを作成] ページで、[メールアドレス] を入力します。個人用の E メールを使用 することをお勧めします。
- 3. 次へをクリックします。
- 4. [お名前]を入力し、[次へ]を選択します。
- 5. Eメール確認ページで、Eメールアドレスに送信された確認コードを入力します。確認を選択し ます。Eメールプロバイダーによっては、Eメールの受信まで数分かかる場合があります。スパ

ムフォルダと迷惑メールフォルダにコードがないか確認してください。5 分 AWS 後に からの E メールが表示されない場合は、コードの再送信を選択します。

- 6. お客様のEメールを確認した後、パスワードの選択ページで、パスワード とパスワードの確認を 入力してください。
- 7. セキュリティ強化として キャプチャが表示される場合は、表示されている文字を入力してくだ さい。
- 8. [作成] AWS ビルダー ID を選択します。

### 信頼されたデバイス

サインインページで This is a trusted device(これは信頼できるデバイスです) というオプションを選 択すると、そのデバイスのそのウェブブラウザからの今後のすべてのサインインを承認されたものと みなします。つまり、信頼できるデバイスには MFA コードを入力する必要がないということです。 ただし、ブラウザ、クッキー、または IP アドレスが変更された場合は、MFA コードを使用して追加 の認証を行う必要がある場合があります。

### AWS を使用するツールとサービス AWS ビルダー ID

を使用してサインイン AWS ビルダー ID すると、以下の AWS ツールやサービスにアクセスできま す。料金で提供される機能や利点にアクセスするには、 が必要です AWS アカウント。

デフォルトでは、 を使用して AWS ツールまたはサービスにサインインすると AWS ビルダー ID、 セッション期間は 90 日間のセッション期間を持つ Amazon Q Developer を除き、30 日間続きま す。セッションが終了すると、再びサインインする必要があります。

AWS クラウドコミュニティ

<u>Community.aws</u> は、 および AWS がビルダーのコミュニティのためにアクセスできるプラット フォームです AWS ビルダー ID。ここでは、教育コンテンツの検索、個人的な考えやプロジェク トの共有、他のユーザーの投稿へのコメント、お気に入りのビルダーの参照を行うことができま す。

Amazon CodeCatalyst

Amazon CodeCatalyst の使用を開始する AWS ビルダー ID ときに を作成し、問題、コードコ ミット、プルリクエストなどのアクティビティに関連付けられるエイリアスを選択します。チー ムが次のプロジェクトを成功させるために必要なツール、インフラストラクチャ、環境が揃って いる Amazon CodeCatalyst スペースに他の人を招待できます。新しいプロジェクトをクラウドに デプロイ AWS アカウント するには、 が必要です。

**AWS Migration Hub** 

AWS ビルダー IDで <u>AWS Migration Hub</u> (Migration Hub) にアクセスします。Migration Hub を使 用すると、1 か所で既存のサーバーを検出し、移行を計画して、各アプリケーションの移行ス テータスを追跡できます。

Amazon Q Developer

Amazon Q Developer は、生成 AI を活用した会話アシスタントであり、 AWS アプリケーション の理解、構築、拡張、運用に役立ちます。詳細については、「Amazon Q Developer ユーザーガ イド」の「What is Amazon Q Developer?」を参照してください。

AWS re:Post

AWS re:Post は、専門的な技術ガイダンスを提供するため、 AWS サービスを使用してイノベー ションを高速化し、運用効率を向上させることができます。でサインイン AWS ビルダー ID し、 AWS アカウント または クレジットカードを使用せずに re:Post でコミュニティに参加できま す。

AWS スタートアップ

AWS ビルダー ID を使用してAWS スタートアップに参加し、学習コンテンツ、ツール、リソース、サポートを使用してスタートアップを拡大できます AWS。

AWS トレーニング および 認定

を使用して AWS ビルダー ID 、<u>AWS Skill Builder</u> で AWS クラウド スキルを構築し、 AWS エキ スパートから学び、業界で認められている認証情報を使用してクラウドの専門知識を検証できる AWS トレーニング と 認定にアクセスできます。

ウェブサイト登録ポータル (WRP)

は、<u>AWS マーケティングウェブサイト</u>の永続的な顧客 ID および登録プロファイル AWS ビル ダー ID として使用できます。新しいウェビナーに登録したり、登録または参加したすべての ウェビナーを視聴したりするには、「マイウェビナー」を参照してください。

## AWS ビルダー ID プロファイルを編集する

プロファイルの情報はいつでも変更できます。の作成に使用した E メールアドレスと名前 AWS ビ ルダー ID、およびニックネームを編集できます。 [名前] は、他の人と交流するときに、ツールやサービスでどのように呼ばれるかを表します。[ニッ クネーム] は、 AWS友達、密接に関わっている他の人たちにどのように知られたいかを表していま す。

#### Note

を使用するツールとサービスは、 AWS ビルダー ID 必要に応じて を作成して使用する AWS ビルダー ID ように指示します。

#### プロファイル情報を編集するには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. 個人情報を選択します。
- 3. 個人情報ページで、プロファイルの隣にある 編集を選択します。
- 4. プロフィールの編集ページで、名前と ニックネームに必要な変更を加えます。
- 5. 変更の保存をクリックします。プロファイルの更新が完了したことを知らせる緑色の確認メッ セージが表示されます。

#### 連絡先情報を編集するには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. 個人情報を選択します。
- 3. 個人情報ページで、連絡先情報の横にある 編集ボタンを選択します。
- 4. 連絡先情報の編集ページで、メールアドレスを変更します。
- 5. [メールを確認]を選択します。ダイアログボックスが表示されます。
- E メールでコードを受け取ったら、[E メールの確認] ダイアログボックスの [認証コード] にその コードを入力します。確認を選択します。

## AWS ビルダー ID パスワードを変更する

パスワードは以下の条件を満たす必要があります。

- パスワードでは、大文字と小文字が区別されます。
- パスワードの長さは8文字から64文字の間でなければなりません。

- ・パスワードには、次の4つカテゴリから少なくとも1文字を含める必要があります。
  - 小文字 a∽z
  - 大文字 A~Z
  - 数字(0~9)
  - 英数字以外の文字 (~!@#\$%^&\*\_-+=`|\(){}]:;"'<>,.?/)
- 最後の3つのパスワードは再使用できません。

#### Note

を使用するツールとサービスは、 AWS ビルダー ID 必要に応じて を作成して使用する AWS ビルダー ID ように指示します。

AWS ビルダー ID パスワードを変更するには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. セキュリティを選択します。
- セキュリティページで、パスワードの変更を選択します。これにより、新しいページに移動します。
- パスワードの再入力ページの パスワードに、現在のパスワードを入力します。次に [サインイン] を選択します。
- 5. [パスワードの変更] ページの [新しいパスワード] で、使用したい新しいパスワードを入力しま す。次に、[パスワードの確認] に、使用したい新しいパスワードを再入力します。
- その後、[パスワードの変更] をクリックします。 AWS ビルダー ID プロフィールにリダイレク トされます。

## AWS ビルダー IDのすべてのアクティブなセッションを削除する

[ログイン中のデバイス] には、現在ログインしているすべてのデバイスを表示できます。デバイスが わからない場合は、セキュリティ上のベストプラクティスとして、まず<u>パスワードを変更して</u>から、 すべてのデバイスからサインアウトしてください。 AWS ビルダー IDビルダー ID の [セキュリティ] ページでは、アクティブなセッションをすべて削除することで、すべてのデバイスからサインアウト できます。
#### Note

AWS ビルダー ID は、IDE で Amazon Q Developer の 90 日間の延長セッションをサポート します。新しい IDE サインインごとに、2 つのセッションエントリを表示できます。IDE か らサインアウトすると、有効ではなくなった IDE セッションも [サインインしたデバイス] に 引き続き表示されます。これらのセッションは、90 日間の期限が切れると表示されなくなり ます。

すべてのアクティブなセッションを削除するには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. セキュリティを選択します。
- 3. セキュリティ ページで、すべてのアクティブなセッションを削除 を選択します。
- [すべてのセッションを削除] ダイアログボックスに全て削除と入力します。すべてのセッション を削除することで、さまざまなブラウザなど AWS ビルダー ID、 を使用してサインインしたす べてのデバイスからサインアウトできます。次に [すべてのセッションを削除] を選択します。

### を削除する AWS ビルダー ID

▲ Warning

を削除すると AWS ビルダー ID、以前にアクセスした AWS ツールやサービスにアクセスで きなくなります AWS ビルダー ID。 AWS ビルダー ID は AWS アカウント とは別のもので あり、 を削除しても AWS ビルダー ID は閉じません AWS アカウント。

を削除するには AWS ビルダー ID

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. データを選択します AWS ビルダー ID 。
- マイ AWS ビルダー ID データページの「の削除 AWS ビルダー ID」で、「削除 AWS ビルダー ID」を選択します。
- 各免責事項の横にあるチェックボックスを選択し、続行する準備ができていることを確認します。

#### A Important

を削除すると AWS ビルダー ID、のみに関連付けられた残りのコンテンツ AWS ビル ダー ID は削除され、 を使用してアプリケーションからコンテンツにアクセスまたは復 元できなくなります AWS ビルダー ID。の作成と管理に関連して提供された個人情報 AWS ビルダー ID も削除されます。ただし、削除リクエストの記録やお客様を特定でき ない形式のデータなど、法律で要求または許可されている個人情報は保持 AWS される 場合があります。

お客様の情報の処理方法の詳細については、<u>AWS 「 プライバシー通知</u>」を参照してく ださい。

AWS コミュニケーション設定センターにアクセスして、<u>AWS コミュニケーション設</u> 定を更新したり、サブスクリプションを解除したりできることに注意してください。

5. [Delete] AWS ビルダー ID (削除) をクリックします。

## AWS ビルダー ID 多要素認証 (MFA) を管理する

多要素認証 (MFA) は、セキュリティを強化するためのシンプルで効果的なメカニズムです。1 つ目 の要因であるパスワードは、ユーザーが記憶する秘密であり、知識要因とも呼ばれます。その他の 要因としては、所有要因 (セキュリティキーなど、ユーザーが持っているもの) や継承要因 (生体認 証スキャンなど、ユーザー自身のもの) があります。 AWS ビルダー IDにレイヤーを追加するように MFA を設定することを強くお勧めします。

▲ Important

複数の MFA デバイスを登録することをお勧めします。登録されているすべての MFA デバイ スにアクセスできなくなると、 AWS ビルダー IDの復元ができなくなります。

組み込みの認証ツールを登録したり、物理的に安全な場所に保持するセキュリティキーを登録したり できます。組み込みの認証ソフトを使用できない場合は、登録済みのセキュリティキーを使用できま す。認証アプリケーションについては、それらのアプリでクラウドバックアップまたは同期機能を有 効にすることもできます。これにより、MFA デバイスを紛失または破損した場合に、プロファイル にアクセスできなくなることを防ぐことができます。

#### Note

登録した MFA デバイスを定期的に見直して、最新で機能していることを確認することをお 勧めします。また、これらのデバイスは、使用しないときは物理的に安全な場所に保管して ください。

#### で使用できる MFA タイプ AWS ビルダー ID

AWS ビルダー ID は、次の多要素認証 (MFA) デバイスタイプをサポートしています。

#### FIDO2 認証機能

<u>FIDO2</u> は CTAP2 と <u>WebAuthn</u> を含む標準であり、パブリックキー暗号に基づいています。FIDO 認 証情報は、認証情報が作成された Web サイト (AWSなど) 固有のものであるため、フィッシング詐 欺に対して強固です。

AWS は、FIDO 認証の最も一般的なフォームファクタとして、組み込み認証とセキュリティキーの 2 つをサポートしています。FIDO 認証機能の最も一般的なタイプの詳細については、以下を参照し てください。

トピック

- 組み込みの認証機能
- セキュリティキー
- ・ パスワードマネージャー、パスキープロバイダー、その他の FIDO 認証システム

組み込みの認証機能

MacBook の TouchID や、Windows Hello 対応のカメラなどの一部デバイスはビルトイン認証システムを装備しています。お使いのデバイスが WebAuthn を含む FIDO プロトコルと互換性がある場合は、指紋や顔を第二の要素として使用できます。詳細については、FIDO 認証 を参照してください。

セキュリティキー

FIDO2 対応の外付け USB、BLE、または NFC 接続のセキュリティキーを購入できます。MFA デバ イスの入力を求められたら、キーのセンサーをタップします。YubiKey または Feitian は互換性のあ るデバイスを製造しています。互換性のあるすべてのセキュリティキーのリストについては、<u>FIDO</u> 認定製品をご覧ください。

#### パスワードマネージャー、パスキープロバイダー、その他の FIDO 認証システム

複数のサードパーティプロバイダーが、パスワードマネージャー、FIDO モードのスマートカード、 その他のフォームの要素の機能として、モバイルアプリケーションの FIDO 認証をサポートしていま す。これらの FIDO 互換デバイスは IAM Identity Center で動作しますが、このオプションを MFA で 有効にする前に FIDO 認証機能をご自身でテストすることをお勧めします。

#### Note

FIDO 認証機能の中には、パスキーと呼ばれる検出可能な FIDO 認証情報を作成できるもの もあります。パスキーは、パスキーを作成したデバイスにバインドされている場合もあれ ば、同期可能でクラウドにバックアップされている場合もあります。例えば、サポートされ ている Macbook で Apple Touch ID を使ってパスキーを登録し、ログイン時に画面に表示さ れる指示に従って iCloud のパスキーで Google Chrome を使って Windows ラップトップか らサイトにログインできます。どのデバイスが同期可能なパスキーをサポートしていると、 オペレーティングシステムとブラウザ間の現在のパスキーの相互運用性をサポートしている の詳細は、FIDO アライアンスとワールドワイドウェブコンソーシアム (W3C) が管理するリ ソースである passkeys.dev の「デバイスサポート」を参照してください。

認証アプリケーション

認証アプリケーションは、ワンタイムパスワード (OTP) ベースのサードパーティー認証機能を備え ています。モバイルデバイスやタブレットにインストールされた認証アプリケーションを、許可され た MFA デバイスとして使用することができます。サードパーティー認証アプリケーションは、6 桁 の認証コードを生成できる標準ベースのタイムベースドワンタイムパスワード (TOTP) アルゴリズム である RFC 6238 に準拠している必要があります。

MFA を求めるプロンプトが表示されたら、認証アプリケーションから有効なコードを入力ボックス に入力する必要があります。ユーザーに割り当てられた各 MFA デバイスは一意であることが必要で す。1 人の ユーザーに対して 2 つの認証アプリを登録することができます。

以下の有名なサードパーティの認証アプリケーションから選択できます。ただし、TOTP 準拠のアプ リケーションは AWS ビルダー ID MFA で動作します。

オペレーティングシステム	テスト済みの認証アプリ
Android	<u>1Password、Authy、Duo Mobile、Microsoft</u> Authenticator、Google Authenticator

#### オペレーティングシステム

iOS

テスト済みの認証アプリ

<u>1Password</u>, <u>Authy</u>, <u>Duo Mobile</u>, <u>Microsoft</u> Authenticator, <u>Google Authenticator</u>

#### AWS ビルダー ID MFA デバイスを登録する

#### Note

MFA にサインアップし、サインアウトしてから同じデバイスでサインインすると、信頼でき るデバイスでは MFA の入力を求められない場合があります。

認証アプリケーションを使用して MFA デバイスを登録するには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. セキュリティを選択します。
- 3. セキュリティ ページで、デバイスの登録を選択します。
- 4. MFA デバイスの登録 ページで、認証アプリケーションを選択します。
- 5. AWS ビルダー ID は、QR コードグラフィックなどの設定情報を操作して表示します。図 は、QR コードに対応していない認証アプリケーションでの手動入力に利用できる「シークレッ ト設定キー」を示しています。
- 認証アプリケーションを開きます。アプリのリストについては、「認証アプリケーション」を参照してください。

認証アプリケーションが複数の MFA デバイスまたはアカウントをサポートしている場合は、新 しい MFA デバイスまたはアカウントを作成するオプションを選択します。

- MFA アプリケーションが QR コードをサポートしているかどうかを判断し、認証アプリケーションの設定 ページで以下のいずれかの操作を行います。
  - 1. QR コードの表示を選択し、アプリケーションを使用して QR コードをスキャンします。例 えば、カメラアイコンまたは スキャンコード に似たオプションを選択します。次に、デバイ スのカメラでコードをスキャンします。
  - シークレットキーを表示をクリックし、そのシークレットキーを MFA アプリケーションに入力します。

完了すると、認証アプリケーションがワンタイムパスワードを生成して表示します。

8. 認証システムコードボックスに、現在認証アプリケーションに表示されているワンタイムパス ワードを入力します。MFA の割り当てを選択します。

#### A Important

コードを生成したら、即時にリクエストを送信します。コードを生成した後にリクエス トを送信するまで時間がかかりすぎる場合、MFA デバイスは AWS ビルダー IDビルダー ID とは正常に関連付けられますが、その MFA デバイスは同期しません。これは、タイ ムベースドワンタイムパスワード (TOTP) の有効期間が短いために起こります。その場 合は、デバイスの再同期ができます。詳細については、「認証アプリケーションを使用 して登録やサインインをしようとすると、「予期しないエラーが発生しました」という メッセージが表示されます」を参照してください。

9. デバイスにわかりやすい名前を付けるには AWS ビルダー ID、名前の変更を選択します。この 名前は、このデバイスを登録した他のデバイスと区別するのに役立ちます。

これで、MFA デバイスを で使用する準備ができました AWS ビルダー ID。

セキュリティキーを AWS ビルダー ID MFA デバイスとして登録する

セキュリティキーを使用して MFA デバイスを登録するには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. セキュリティを選択します。
- 3. セキュリティページで、デバイスの登録を選択します。
- 4. MFA デバイスの登録ページで、セキュリティキーを選択します。
- セキュリティキーが有効になっていることを確認します。別の物理セキュリティキーを使用する 場合は、それをコンピューターに接続します。
- 画面上の指示に従います。操作性は、オペレーティングシステムとブラウザによって異なります。
- デバイスにわかりやすい名前を付けるには AWS ビルダー ID、名前の変更を選択します。この 名前は、このデバイスを登録した他のデバイスと区別するのに役立ちます。

これで、MFA デバイスを で使用する準備ができました AWS ビルダー ID。

AWS ビルダー ID MFA デバイスの名前を変更する

MFA デバイスの名前を変更するには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- セキュリティを選択します。ページに到達すると、名前の変更がグレーアウトされていることが わかります。
- 3. 変更する MFA デバイスを選択します。これにより、名前の変更を選択できます。そしたら、ダ イアログボックスが表示されます。
- 表示されるプロンプトで、MFA デバイス名に新しい名前を入力し、名前の変更を選択します。
   名前を変更したデバイスは、多要素認証 (MFA) デバイスに表示されます。

#### MFA デバイスの削除

2 つ以上の MFA デバイスをアクティブに保つことを推奨します。デバイスを削除する前に、「<u>AWS</u> <u>ビルダー ID MFA デバイスを登録する</u>」を参照して交換用の MFA デバイスを登録してください。の 多要素認証を無効にするには AWS ビルダー ID、プロファイルから登録されたすべての MFA デバイ スを削除します。

MFA デバイスを削除するには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. セキュリティを選択します。
- 3. 変更する MFA デバイスを選択したら、削除を選択します。
- 4. MFA デバイスを削除しますか?モーダルでは、指示に従ってデバイスを削除してください。
- 5. 削除をクリックします。

削除したデバイスは、多要素認証 (MFA) に表示されなくなります。

## のプライバシーとデータ AWS ビルダー ID

「<u>AWS プライバシー通知</u>」には、私たちがお客様の個人データをどのように扱うかが概説されてい ます。 AWS ビルダー ID プロファイルを削除する方法については、「」を参照してください<u>を削除</u> する AWS ビルダー ID。

## AWS ビルダー ID データをリクエストする

および でアクセスした AWS ビルダー ID AWS アプリケーションとサービスに関連する個人情報 は、リクエストして表示できます AWS ビルダー ID。他の AWS ウェブサイト、アプリケーション、 製品、サービス、イベント、エクスペリエンスに関連して提供される個人情報など、お客様のデー タ件名の権利を行使する方法の詳細については、「」を参照してください<u>https://aws.amazon.com/</u> privacy。

個人データをリクエストするには

- 1. で AWS ビルダー ID プロファイルにサインインしますhttps://profile.aws.amazon.com。
- 2. データを選択します AWS ビルダー ID 。
- マイ AWS ビルダー ID データページの「の削除 AWS ビルダー ID」で、「データのリクエスト」を選択します。
- リクエストが受領され 30 日以内に処理が完了されることを知らせる緑色の確認メッセージが ページ上部に表示されます。
- リクエストが処理されたという E メールが当社から届いたら、 AWS ビルダー ID プロファイル のプライバシーとデータページに戻ります。新しく表示された データを含む ZIP アーカイブを ダウンロードボタンを選択します。

データリクエストが保留中の間は、を削除することはできません AWS ビルダー ID。

## AWS ビルダー ID およびその他の AWS 認証情報

AWS ビルダー ID は、 AWS アカウント またはサインイン認証情報とは別個です。 AWS ビルダー ID と のルートユーザー E メールに同じ E メールを使用できます AWS アカウント。

AWS ビルダー ID:

- ・ が使用するツールやサービスにアクセスできます AWS ビルダー ID。
- AWS アカウント またはアプリケーションで指定したポリシーや設定など、既存のセキュリティコントロールには影響しません。
- 既存のルート、IAM アイデンティティセンター、IAM ユーザー、認証情報、またはアカウントを 置き換えません。
- AWS Management Console、、AWS SDKs AWS CLI、または AWS Toolkit AWS にアクセスする ための IAM 認証情報を取得できません。

AWS アカウント は、連絡先情報と支払い情報を含むリソースコンテナです。S3, EC2、Lambda な どの課金および計測された AWS サービスを運用するセキュリティ境界を確立します。アカウント所 有者は、 AWS アカウント で にサインインできます AWS Management Console。詳細については、 「AWS Management Consoleへのサインイン」を参照してください。

が既存の IAM アイデンティティセンター ID にどのように AWS ビルダー ID 関連しているか

アイデンティティを所有する個人は、 AWS ビルダー IDを管理する。学校や職場など、他の組織で 持っている他のアイデンティティとは関連がありません。IAM アイデンティティセンターのワーク フォース ID を使用して、作業自体を表し、 AWS ビルダー ID を使用してプライベート自体を表すこ とができます。これらの ID は独立して動作します。

IAM アイデンティティセンター (AWS シングルサインオンの後継) AWS のユーザーは、企業の IT 管理者またはクラウド管理者、または Okta、Ping、Azure などの組織の ID プロバイダーの管理者に よって管理されます。IAM アイデンティティセンターのユーザーは、 AWS Organizationsの複数の アカウントのリソースにアクセスできます。

### 複数の AWS ビルダー ID プロファイル

各 ID が一意の E メールアドレスを使用している AWS ビルダー ID 限り、複数の を作成できます。 ただし、複数の を使用すると、どの目的でどの を使用した AWS ビルダー ID かを思い出すことが困 難 AWS ビルダー ID になる可能性があります。可能であれば、 AWS ツールやサービスのすべての アクティビティに 1 AWS ビルダー ID つの を使用することをお勧めします。

# からサインアウトする AWS

からサインアウトする方法 AWS は、ユーザーの種類 AWS アカウント によって異なります。アカ ウントのルートユーザー、IAM ユーザー、IAM アイデンティティセンターのユーザー、フェデレー ティッド ID、または AWS Builder ID ユーザーのいずれかになります。自分がどのようなユーザーか 明確でない場合は、「ユーザータイプを決定する」を参照してください。

トピック

- ・ からサインアウトする AWS Management Console
- AWS アクセスポータルからのサインアウト
- AWS Builder ID からサインアウトする

# からサインアウトする AWS Management Console

からサインアウトするには AWS Management Console

にサインインすると AWS Management Console、次の図に示すようなページが表示されます。
 右上隅にアカウント名または IAM ユーザー名が表示されます。

r services, features, blogs, docs, and more [Alt+5]				D 4	đ	Any Town 🔹
Console Home 🗤				Reset to default layout		+ Add widgets
Recently visited who	1	We	come to AWS	AWS Health Into		I
EI IAM		~	Getting started with AWS 🗹	Open issues		
5 Support		33	valuable information to get the most	0		Past 7 days
Re IAM Identity Center (successor to AWS Si			out of AWS.	Scheduled changes		
Service Catalog		1	Training and certification 🖾	0 Up	comin	ig and past 7 days
20 EC2		EQ	Learn from AWS experts and advance your skills and knowledge.	Other notifications		

2. 右上のナビゲーションバーでユーザー名を選択します。

	<b>D</b> 4	Any Town    example.com
Reset to default layout +	Add widgets	Select your
# AWS Health Info	:	account name
Open issues O	Past 7 days	
Scheduled changes O Upcoming an	nd past 7 days	
Other notifications	Past 7 days	

- サインアウトオプションを選択します。ボタンオプションは、サインインしているアカウントの 数によって異なります。
  - •1つのアカウントにのみサインインしている場合は、サインアウトを選択します。
  - すべてのセッションからサインアウトを選択して、すべての ID から同時にサインアウトします。
  - 現在のセッションからサインアウトを選択して、選択した ID からサインアウトします。
- 4. AWS Management Console ウェブページに戻ります。

複数のアカウントにサインインする方法の詳細については、「 入門ガイド」の<u>「複数のアカウント</u> <u>にサインイン</u>する」を参照してください。 AWS Management Console

## AWS アクセスポータルからのサインアウト

AWS アクセスポータルからサインアウトするには

- 1. 右上のナビゲーションバーでユーザー名を選択します。
- 2. 次の図に示すように、[サインアウト]を選択します。

aws access portal	0	¢	A sa ▲
AWS access portal More wa	ivs to access	admi	n@example.com
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	MFA	devices
Accounts Applications		Sign	out
Applications (2)			
Q Find applications by name			_
AmazonQ QuickSight			

3. 正常にサインアウトすると、 AWS アクセスポータルのサインインページが表示されます。

外部 ID プロバイダー (IdP) を ID ソースとして使用している場合、サインアウトしても認証情報のア クティブなセッションは終了しません。 AWS アクセスポータルに戻ると、認証情報を指定しなくて も自動的にサインインされる場合があります。

## AWS Builder ID からサインアウトする

AWS Builder ID を使用してアクセスした AWS サービスからサインアウトするには、サービスから サインアウトする必要があります。 AWS Builder ID プロファイルからサインアウトする場合は、次 の手順を参照してください。

AWS Builder ID プロファイルからサインアウトするには

- 1. で AWS Builder ID プロファイルにサインインすると<u>https://profile.aws.amazon.com/</u>、「マイの 詳細」が表示されます。
- 2. AWS Builder ID プロファイルページの右上で、サインアウトを選択します。

aws		►   Sign
AWS Builder ID ×	My details	
<b>My details</b> Security	Changes to your AWS Builder ID apply to all AWS services and applications that you access using your AWS Builder ID.	
Privacy & data	Profile information	Edit
	Name Nickname	
	Contact information	Edit
	Email address	

3. AWS Builder ID プロファイルが表示されなくなったらサインアウトします。

# サインインに関する問題 AWS アカウント のトラブル シューティング

サインインやその他の AWS アカウント 問題のトラブルシューティングには、こちらの情報を参考 にしてください。にサインインするstep-by-stepについては AWS アカウント、「」を参照してくだ さいにサインインする AWS Management Console。

どのトラブルシューティングトピックもサインインの問題に対処できない場合は、<u>「AWS のお客様であり、請求またはアカウントサポートを探しています</u>」というフォームに入力 サポート して でケースを作成できます。セキュリティのベストプラクティスとして、 サポート では、サインインしているアカウント AWS アカウント 以外の の詳細について説明することはできません。また、AWSサポートは、理由の如何を問わず、アカウントに関連付けられている認証情報を変更することもできません。

#### Note

サポート は、サポート担当者に連絡するための直接電話番号を発行しません。

サインインに関する問題のトラブルシューティングの詳細については、「 <u>へのサインインまたは</u> <u>へのアクセスに問題がある場合はどうすればよいですか?」を参照してください AWS アカウン</u> <u>ト。</u>Amazon.com へのサインインに問題がある場合は、「<u>Amazon カスタマーサービス</u>」を参照し てください。

トピック

- AWS Management Console 認証情報が機能しない
- ルートユーザーのパスワードリセットが必要
- AWS アカウントアカウントの E メールにアクセスできない
- MFA デバイスの紛失および故障時の対応
- AWS Management Console サインインページにアクセスできない
- AWS アカウント ID またはエイリアスを確認する方法
- <u>アカウント検証コードが必要</u>
- AWS アカウントのルートユーザーパスワードを忘れてしまった
- <u>AWS アカウントの IAM ユーザーパスワードを忘れてしまいました。</u>
- ・ のフェデレーション ID パスワードを忘れてしまいました AWS アカウント

- 既存の にサインインできず AWS アカウント、同じ E メールアドレス AWS アカウント で新しい を作成できない
- 利用停止中の AWS アカウントを再度有効にする必要があります
- サインインの問題 サポート については、 に連絡する必要があります
- 請求の問題 AWS Billing については、 に連絡する必要があります
- 小売注文について質問があります
- の管理に関するヘルプが必要です AWS アカウント
- AWS アクセスポータルの認証情報が機能しない
- の IAM Identity Center パスワードを忘れてしまいました AWS アカウント
- <u>IAM Identity Center コンソールにサインインしようとすると、「It's not you, it's us」というエラー</u> が表示される

### AWS Management Console 認証情報が機能しない

ユーザー名とパスワードを覚えていても認証情報が使えない場合は、間違ったページに移動している 可能性があります。別のページでログインしてみてください。

ルートユーザーのサインインページ

- を作成または所有 AWS アカウント していて、ルートユーザーの認証情報を必要とするタス クを実行している場合は、にアカウントの E メールアドレスを入力します <u>AWS Management</u> <u>Console</u>。ルートユーザーにアクセスする方法については、<u>ルートユーザーとしてサインインす</u> <u>る</u>を参照します。パスワードを忘れた場合、リセットすることはできません。詳細については 「<u>AWS アカウントのルートユーザーパスワードを忘れてしまった</u>」を参照してください。ルート ユーザーのメールアドレスを忘れてしまった場合は、AWSからのメールが届いていないか確認し てください。
- ルートユーザーアカウントにサインインしようとして、「ルートユーザーアカウントのパスワード 復旧が無効になっています」というエラーが表示された場合は、ルートユーザー認証情報があり ません。ルートユーザーとしてサインインしたり、アカウントのルートユーザーのパスワード復 旧を実行したりすることはできません。を使用して管理されている AWS メンバーアカウントに は、ルートユーザーのパスワード、アクセスキー、署名証明書、またはアクティブな多要素認証 (MFA) がない AWS Organizations 場合があります。

メンバーアカウントでルートユーザーアクションを実行できるのは、IAM の管理アカウントまた は委任管理者のみです。ルートユーザー認証情報を必要とするタスクを実行する必要がある場合 は、管理者に問い合わせてください。詳細については、「AWS Identity and Access Management ユーザーガイド」の<u>「メンバーアカウントのルートアクセスを一元管理する</u>」を参照してくださ い。

IAM ユーザーのサインインページ

 ユーザーまたは他のユーザーが内で IAM ユーザーを作成した場合は AWS アカウント、サインインするためにその AWS アカウント ID またはエイリアスを知る必要があります。AWS Management Console にアカウント ID またはエイリアス、ユーザー名、パスワードを入力します。IAM ユーザーのサインインページにアクセスする方法については、「IAM ユーザーとしてサインインするには」を参照してください。IAM ユーザーパスワードを忘れた場合は、IAM ユーザーパスワードのリセットについて、「AWS アカウントの IAM ユーザーパスワードを忘れてしまいました。」を参照してください。アカウント番号を忘れた場合は、メール、ブラウザーのお気に入り、またはブラウザーの履歴で、signin.aws.amazon.com/を含む URL を検索してください。アカウント ID またはエイリアスは、URL の "account=" テキストの後に続きます。アカウント ID またはエイリアスが見つからない場合は、管理者にお問い合わせください。この情報 サポート の復旧には役に立ちません。アカウントIDまたはエイリアスは、サインインするまで表示されません。

### ルートユーザーのパスワードリセットが必要

アカウントを保護するために、 AWS Management Consoleにサインインしようとすると、次のメッ セージが表示されることがあります。

パスワードのリセットが必要です。セキュリティの目的でパスワードをリセットする必要がありま す。アカウントを安全に保つために、以下の [パスワードを忘れた場合] を選択してパスワードをリ セットする必要があります。

このメッセージに加えて、 は、お客様のアカウントに関連付けられた E メールを通じて潜在的な問 題が特定されたときに AWS も通知します。この E メールには、パスワードのリセットが必要な理 由が含まれています。例えば、 への異常なログインアクティビティを特定した場合、 AWS アカウ ント または に関連付けられた認証情報 AWS アカウント がオンラインで公開されます。

ルートユーザーの認証情報が安全であることを保証するためにパスワードを更新します。ルートユー ザーのパスワードをリセットする方法については、「<u>AWS アカウントのルートユーザーパスワード</u> を忘れてしまった」を参照してください。

## AWS アカウントアカウントの E メールにアクセスできない

を作成するときは AWS アカウント、E メールアドレスとパスワードを指定します。これらは、 AWS アカウントのルートユーザーの認証情報です。に関連付けられている E メールアドレスが不明 な場合は AWS アカウント、@signin.aws または @verify.signin.aws で終わる、 を開くために使用さ れた可能性のある組織の E メールアドレスへの保存された通信を探します AWS アカウント。チー ム、組織、家族の他のメンバーに聞いてみてください。知り合いがアカウントを作成した場合は、そ の人がアクセスできるように手伝ってくれます。

Eメールアドレスがわかっていても、Eメールにアクセスできなくなった場合は、まず次のいずれかのオプションを使用して、Eメールへのアクセスを回復します。

- Eメールアドレスのドメインを所有している場合は、削除した Eメールアドレスを復元できます。または、Eメールアカウントにキャッチオールを設定することもできます。「キャッチオール」は、メールサーバーに存在しなくなった Eメールアドレスに送信されたすべてのメッセージをキャッチし、別のメールアドレスにリダイレクトします。
- アカウントのEメールアドレスが企業Eメールシステムの一部である場合は、ITシステム管理者 に連絡することをお勧めします。管理者は、Eメールへのアクセス許可の回復を支援できる可能性 があります。

それでも にサインインできない場合は AWS アカウント、 に連絡して代替のサポートオプションを 見つけることができますサポート。

## MFA デバイスの紛失および故障時の対応

MFA デバイスが紛失、破損、または動作しない場合、MFA 検証リクエストを送信しても 1 回限りの パスコード (OTP) は送信されません。

IAM ユーザー

同じ IAM ユーザーに登録されている別の MFA デバイスを使用してサインインできます。

IAM ユーザーは、管理者に連絡して、動作していない MFA デバイスを非アクティブ化する必要 があります。これらのユーザーは、管理者の支援なしに MFA デバイスを復元することはできま せん。管理者は通常、組織の他のメンバー AWS アカウント よりも高いレベルのアクセス許可を 持つ情報技術 (IT) 担当者です。この個人がアカウントを作成し、ユーザーにサインインするため のアクセス認証情報を提供します。 ルートユーザー

ルートユーザーへのアクセスを回復するには、同じルートユーザーに登録されている別の MFA デバイスを使用してサインインする必要があります。次に、次のオプションを確認して MFA デ バイスを復旧または更新します。

- MFA デバイスの復旧手順については、「MFA デバイスの紛失および故障時の対応」をご覧く ださい。
- MFA デバイスの電話番号を更新する手順については、「電話番号を更新して紛失した MFA デ バイスをリセットする方法」をご覧ください。
- ・ MFA デバイスをアクティブ化するstep-by-step手順については、「 <u>でユーザーの MFA デバイ</u> スを有効にする AWS」を参照してください。
- MFA デバイスを復旧できない場合は、サポート にお問い合わせください。

Note

IAM ユーザーは、管理者に連絡して MFA デバイスに関するサポートを依頼する必要が あります。 サポート は、MFA デバイスの問題で IAM ユーザーをサポートすることは できません。

## AWS Management Console サインインページにアクセスできない

サインインページが表示されない場合は、ドメインがファイアウォールによってブロックされている 可能性があります。ネットワーク管理者に連絡して、ユーザーの種類とサインイン方法に応じて、以 下のドメインまたは URL エンドポイントを Web コンテンツフィルターソリューションの許可リス トに追加してください。

ルートユーザーと IAM ユーザー	*.signin.aws.amazon.com
Amazon.com アカウントへのサインイン	www.amazon.com
IAM アイデンティティセンターのユーザーと ファーストパーティアプリケーションサインイ ン	<ul><li>*.awsapps.com (http://awsapps.com/)</li><li>*.signin.aws</li></ul>

# AWS アカウント ID またはエイリアスを確認する方法

IAM ユーザーでサインインしていない場合は、管理者に AWS アカウント の ID またはエイリアスを 問い合わせてください。管理者は通常、組織の他のメンバー AWS アカウント よりも高いレベルの アクセス許可を持つ情報技術 (IT) 担当者です。この個人がアカウントを作成し、ユーザーにサイン インするためのアクセス認証情報を提供します。

へのアクセス権を持つ IAM ユーザーの場合 AWS Management Console、アカウント ID は サインイン URL にあります。管理者からのメールをチェックして、サインイン URL を確認 してください。アカウント ID はサインイン URL の最初の 12 桁です。例えば、次の URL で は、https://111122223333.signin.aws.amazon.com/console AWS アカウント ID は 111122223333 です。

にサインインすると AWS Management Console、リージョンの横にあるナビゲーションバーにアカ ウント情報が表示されます。たとえば、次のスクリーンショットでは、IAM ユーザーの Jane Doe の は 1111-2222-3333 AWS アカウント です。

Oregon ▼ Jane_Doe @ 111122223333 ▲
Account ID: 1111-2222-3333
Account
Organization
Service Quotas
Billing Dashboard
Security credentials
Switch role Sign out

ユーザータイプに応じた AWS アカウント の検索方法の詳細については、以下の表を参照してくだ さい。

#### ユーザータイプと AWS アカウント IDs

ユーザーのタイプ	手順
ルートユーザー	右上のナビゲーショ ンバーでユーザー名 を選択した後、[セ キュリティ認証情 報] を選択します。ア カウント番号は [アカ ウント識別子] の下に 表示されます。
IAM ユーザー	右上のナビゲーショ ンバーでユーザー名 を選択した後、[セ キュリティ認証情 報] を選択します。ア カウント番号は [アカ ウント詳細] の下に表 示されます。
役割を引き受けた	右上のナビゲーショ ンバーで、[サポー ト]、[サポートセン ター] の順に選択しま す。現在サインイン している 12 桁のアカ ウント番号 (ID) は、 サポートセンターナ ビゲーションペイン に表示されます。

AWS アカウント ID とエイリアス、およびその検索方法の詳細については、<u>AWS アカウント「ID</u> とそのエイリアス」を参照してください。

## アカウント検証コードが必要

アカウントのEメールアドレスとパスワードを指定した場合、 では 1 回限りの検証コードの入力が 必要になる AWS ことがあります。検証コードを取得するには、 に関連付けられている E メールに Amazon Web Services からの AWS アカウント メッセージがないか確認してください。E メールア ドレスは @signin.aws または @verify.signin.aws で終わります。メッセージに記載されている手順 に従います。アカウントにメッセージが表示されない場合、スパムや迷惑メールフォルダを確認して ください。E メールへのアクセス許可がない場合、「<u>AWS アカウントアカウントの E メールにアク</u> セスできない」を参照してください。

# AWS アカウントのルートユーザーパスワードを忘れてしまった

ルートユーザーで、のパスワードを紛失または忘れた場合は AWS アカウント、 で「パスワードを 忘れた場合」リンクを選択してパスワードをリセットできます AWS Management Console。 AWS アカウントのEメールアドレスを把握し、Eメールアカウントにアクセスできる必要があります。 パスワード復旧手順中に、パスワードをリセットするためのリンクがメールで送信されます。リンク は、の作成に使用したEメールアドレスに送信されます AWS アカウント。

AWS Organizations を使用して作成したアカウントのパスワードをリセットするには、<u>「ルートユー</u> ザーとしてのメンバーアカウントへのアクセス」を参照してください。

ルートユーザーパスワードをリセットするには

 AWSEメールアドレスを使用して、ルートユーザーとして <u>AWS マネジメントコンソール</u>への サインインを開始します。[次へ] を選択します。



Note

IAM ユーザー認証情報で AWS Management Console にサインインしている場合、ルートユーザーのパスワードをリセットする前にサインアウトする必要があります。アカウント固有の IAM ユーザーのサインインページが表示された場合は、ページの下部付近にある ルートアカウントの認証情報を使用してサインインする を選択します。必要に応じて、アカウントのEメールアドレスを指定し、[次へ]を選択して [ルートuser sign in (ルートユーザーサインイン)] ページにアクセスします。

2. [パスワードを忘れましたか?]を選択します。

Root user sign in o	)
Email: username@example.com	1
Password	Forgot password?
1	
Sign in	

パスワード復旧手順を完了します。セキュリティチェックを完了できない場合は、音声を聞くか、セキュリティチェックを更新して新しい文字セットが試してください。パスワード復旧ページの例を次の画像に示します。

Password recovery	×
Email address username@example.com	
Type the characters seen in the image below	
Enter characters here	
Cancel Send en	nail

4. パスワード復旧手順を完了すると、 AWS アカウントに関連する E メールアドレスに詳細な手順が送信されたというメッセージを受け取ります。

AWS アカウントの作成に使用した E メールに、パスワードをリセットするためのリンクが送信 されます。

Note

E メールは @signin.aws または @verify.signin.aws で終わるアドレスから届きます。

- 5. EAWS メールに記載されているリンクを選択して、 AWS ルートユーザーのパスワードをリ セットします。
- リンクをクリックすると、新しいルートユーザーパスワードを作成するための新しい Web ページに移動します。

Depot po	acoword
Reset pa	issword
New passwor	d
Confirm new	password
	Reset password
	Reset password

パスワードのリセットが成功したことを示す確認メッセージが届きます。パスワードのリセット が成功したことが次の画像に示します。

Password reset successful
Your password has been updated successfully. Sign in to access AWS properties.
Sign in

ルートユーザーパスワードのリセットの詳細については、<u>「紛失または忘れた AWS パスワードを復</u> 元する方法を教えてください。」を参照してください。

AWS アカウントの IAM ユーザーパスワードを忘れてしまいました。

IAM ユーザーのパスワードを変更するには、適切な権限が必要です。IAM ユーザーパスワードのリ セットの詳細については、「<u>IAM ユーザーが自分のパスワードを変更する方法</u>」を参照してくださ い。

パスワードをリセットする権限がない場合は、IAM 管理者だけが IAM ユーザーパスワードをリセッ トできます。IAM ユーザーは IAM 管理者に連絡して、パスワードをリセットする必要があります。 管理者は通常、組織の他のメンバー AWS アカウント よりも高いレベルのアクセス許可を持つ情報

#### 技術 (IT) 担当者です。この個人がアカウントを作成し、ユーザーにサインインするためのアクセス 認証情報を提供します。

Sign in as <mark>IAM user</mark>
Account ID (12 digits) or account alias
111122223333
IAM user name
Password
Remember this account
Sign in
Sign in using root user email
Forgot password?
Account owners, return to the main sign-in page and
sign in using your email address. IAM users, only your
administrator can reset your password. For help,
user name. Learn more

セキュリティ上の理由から、 サポート には認証情報を表示、提供、または変更するためのアクセス 権はありません。

IAM ユーザーパスワードのリセットの詳細については、<u>「紛失または忘れた AWS パスワードを復元</u>」 するにはどうすればよいですか?」を参照してください。

管理者がパスワードを管理する方法については、「<u>IAM ユーザーのパスワード管理</u>」を参照してく ださい。

# のフェデレーション ID パスワードを忘れてしまいました AWS ア カウント

フェデレーティッド ID は、外部 ID AWS アカウント を使用して にアクセスするためにサインイン します。使用する外部アイデンティティのタイプによって、フェデレーション ID のサインイン方法 が決まります。管理者はフェデレーション ID を作成します。パスワードをリセットする方法の詳細 については、管理者に確認してください。管理者は通常、組織の他のメンバー AWS アカウント よ りも高いレベルのアクセス許可を持つ情報技術 (IT) 担当者です。この個人がアカウントを作成し、 ユーザーにサインインするためのアクセス認証情報を提供します。

既存の にサインインできず AWS アカウント 、同じ E メールアド レス AWS アカウント で新しい を作成できない

1 つの E メールアドレスには 1 つの AWS アカウントのルートユーザーにのみ関連付けることができ ます。ルートユーザーアカウントを閉鎖し、90 日以上閉鎖されたままである場合、このアカウント に関連付けられた E メールアドレス AWS アカウント を使用してアカウントを再開したり、新しい を作成したりすることはできません。

この問題を解決するには、新しいアカウントにサインアップするときに、通常のEメールアドレ スの後にプラス記号 (+) を追加するサブアドレスを使用します。プラス記号 (+) の後には、大文字 または小文字、数字、または SMTP (簡易メール転送プロトコル) がサポートするその他の文字を 付けることができます。たとえば、普段使っているEメールが email@yourcompany.comの場 合、email+1@yourcompany.com または email+tag@yourcompany.com を使用できます。普段 使っているEメールアドレスと同じ受信トレイに接続されていても、新しいアドレスと見なされま す。新しいアカウントにサインアップする前に、追加したEメールアドレスにテストメールを送信 して、メールプロバイダーがサブアドレッシングをサポートしていることを確認することをお勧めし ます。

### 利用停止中の AWS アカウントを再度有効にする必要があります

AWS アカウント が停止されており、それを復元する場合は、<u>「停止した を再度有効にする方法を</u> 教えてください」を参照してください AWS アカウント。

# サインインの問題 サポート については、 に連絡する必要がありま す

すべてを試した場合は、<u>請求およびアカウントサポートリクエスト</u>を完了 サポート することで、 か らサポートを受けることができます。

## 請求の問題 AWS Billing については、 に連絡する必要があります

にサインインできず AWS アカウント 、請求の問題 AWS Billing について に問い合わせる場合 は、<u>請求およびアカウントサポートリクエスト</u>を通じて行うことができます。料金や支払い方法など AWS Billing and Cost Management、 の詳細については、<u>「のヘルプの取得 AWS Billing</u>」を参照し てください。

## 小売注文について質問があります

www.amazon.com アカウントに問題がある場合、または小売注文について質問がある場合は、「<u>サ</u> ポートオプションとお問い合わせ」を参照してください。

## の管理に関するヘルプが必要です AWS アカウント

のクレジットカードの変更 AWS アカウント、不正行為の報告、または の閉鎖についてサポートが 必要な場合は AWS アカウント、「 <u>に関するその他の問題のトラブルシューティング AWS アカウン</u> ト」を参照してください。

### AWS アクセスポータルの認証情報が機能しない

AWS アクセスポータルにサインインできない場合は、以前にアクセスした方法を思い出してください AWS。

パスワードを使ったことをまったく覚えていない場合

AWS 認証情報を使用 AWS せずに以前に にアクセスしたことがあるかもしれません。これは、IAM アイデンティティセンター経由のエンタープライズシングルサインオンでは一般的です。 AWS この ようにアクセスすると、認証情報を入力せずに、企業の認証情報を使用して AWS アカウントまたは アプリケーションにアクセスすることになります。 AWS アクセスポータル – 管理者が外部からの認証情報を使用して AWS にアクセスすることを許可している場合は AWS、ポータルの URL が必要です。Eメール、お気に入りのブラウザ、または awsapps.com/start や signin.aws/platform/login を含む URL に対するブラウザの履歴を確認してください。

例えば、カスタム URL には ID や https://d-1234567890.awsapps.com/start のようなド メインが含まれる場合があります。ポータルリンクが見つからない場合は、管理者にお問い合わせ ください。この情報 サポート の復旧には対応していません。

ユーザー名とパスワードを覚えていても認証情報が使えない場合は、間違ったページに移動している 可能性があります。ウェブブラウザで URL を確認してください。https://signin.aws.amazon.com/ の 場合、フェデレーティッドユーザーまたは IAM アイデンティティセンターのユーザーは自分の認証 情報を使用してサインインできません。

AWS アクセスポータル – 管理者が AWS IAM アイデンティティセンター (AWS Single Sign-On の後継)の ID ソースを設定する場合は AWS、組織の AWS アクセスポータルでユーザー名とパス ワードを使用してサインインする必要があります。ポータルの URL を見つけるには、E メール、安全なパスワードストレージ、ブラウザのお気に入り、またはブラウザの履歴で awsapps.com/start または signin.aws/platform/login を含む URL。 例えば、カスタム URL に ID https://d-1234567890.awsapps.com/start.や などのドメインが含まれている場合があり ます。ポータルリンクが見つからない場合は、管理者にお問い合わせください。この情報の復旧に は役 サポート に立ちません。

# の IAM Identity Center パスワードを忘れてしまいました AWS アカ ウント

IAM アイデンティティセンターのユーザーで、 AWS アカウントのパスワードを紛失または忘れた 場合は、パスワードをリセットできます。IAM アイデンティティセンターのアカウントに使用して いる E メールアドレスを知っており、アクセス権限を持っている必要があります。パスワードをリ セットするためのリンクが AWS アカウント E メールに送信されます。

IAM アイデンティティセンターでユーザーのパスワードをリセットする手順

AWS アクセスポータル URL リンクを使用して、ユーザー名を入力します。[次へ] を選択します。



2. 次の画像に示すように、[パスワードを忘れた場合]を選択します。

Sign in	
Username: Jane_Doe (	not you?)
Password	
Show password	Forgot passwor
Sig	in in
Ca	ncel

3. パスワード復旧手順を完了します。



4. パスワード復旧手順を完了すると、パスワードのリセットに使用できる E メールメッセージが 送信されたことを確認する以下のメッセージが表示されます。



パスワードをリセットするためのリンクが記載された E メールが、IAM アイデンティティセン ターのユーザーアカウントに関連付けられている E メールに送信されます。E AWS メールに記 載されているリンクを選択して、パスワードをリセットします。リンクをクリックすると、新し いパスワードを作成するための新しい Web ページに移動します。新しいパスワードを作成する と、パスワードのリセットが成功したことを示す確認メッセージが表示されます。

パスワードをリセットするためのメールが届かない場合は、管理者に IAM アイデンティティセ ンターでどの E メールがユーザーに登録されているかを確認するよう依頼してください。

# IAM Identity Center コンソールにサインインしようとすると、 「It's not you, it's us」というエラーが表示される

このエラーは、IAM Identity Center のインスタンスまたは ID ソースとして使用している外部 ID プロ バイダー (IdP) のセットアップの問題があることを示します。次のことを確認することをお勧めしま す。

- サインインに使用するデバイスの日時設定を確認します。日付と時刻の自動設定を許可することを お勧めします。利用できない場合は、日付と時刻を既知の<u>Network Time Protocol (NTP)</u>サーバー に同期することをお勧めします。
- IAM Identity Center にアップロードされた IdP 証明書が ID プロバイダーから提供された証明書と 同じであることを確認します。<u>IAM Identity Center コンソール</u>から証明書を確認するには、[設定] に移動します。[アイデンティティソース] タブの [アクション] で [認証を管理] を選択します。新 しい証明書をインポートする必要がある場合があります。
- IdPのSAMLメタデータファイルで、NameID形式が urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddressであることを確認します。
- AD Connector を使用している場合は、サービスアカウントの認証情報が正しいこと、および有効 期限が切れていないことを確認します。詳細については、「<u>で AD Connector サービスアカウン</u> トの認証情報を更新する AWS Directory Service」を参照してください。

# AWS Builder ID の問題のトラブルシューティング

ここに記載する情報を使用すると、 AWS ビルダー ID に関係する問題のトラブルシューティングに 役立ちます。

トピック

- メールアドレスが既に使われています
- メールの確認を完了させることができない
- <u>でサインインしようとすると、「It's not you, it's us」というエラーが表示されます。AWS ビル ダー ID</u>
- パスワードを忘れてしまいました
- 新しいパスワードを設定できない
- パスワードが機能しません。
- パスワードが機能せず、AWS ビルダー ID の E メールアドレスに送信された E メールにアクセス できなくなる
- MFA を有効にできない
- 認証アプリケーションを MFA デバイスとして追加できない
- MFA デバイスを削除できない
- 認証アプリケーションを使用して登録やサインインをしようとすると、「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示されます
- AWS Builder ID にサインインしようとすると、「It's not you, it's us」というメッセージが表示されます。
- サインアウトしても完全にサインアウトされない
- まだ問題を解決しようとしています

# メールアドレスが既に使われています

入力した E メールが既に使用されており、それを自分の E メールとして認識している場合は、既に AWS Builder ID にサインアップしている可能性があります。そのメールアドレスを使用してサイン インしてみてください。パスワードを覚えていない場合、「<u>パスワードを忘れてしまいました</u>」を参 照してください。

### メールの確認を完了させることができない

AWS Builder ID にサインアップしたが、検証 E メールを受信していない場合は、次のトラブル シューティングタスクを完了します。

1. スパムアイテム、迷惑メールアイテム、削除済みアイテムのフォルダを確認してください。

#### Note

この検証 E メールは、<u>no-reply@signin.aws</u> または <u>no-reply@login.awsapps.com</u> のアド レスから送信されます。これらの送信者メールアドレスからのメールを受け入れ、迷惑 メールやスパムとして処理しないように、メールシステムを設定することをお勧めしま す。

- コードを再送信を選択し、受信トレイを更新して、スパムアイテム、迷惑メールアイテム、削除 済みアイテムのフォルダをもう一度確認します。
- それでも確認 E メールが表示されない場合は、 AWS ビルダー ID の E メールアドレスにタイプ ミスがないか再確認してください。間違ったメールアドレスを入力した場合は、自分のメールア ドレスでもう一度サインアップしてください。

# でサインインしようとすると、「It's not you, it's us」というエラー が表示されます。 AWS ビルダー ID

サインインしようとしたときにこのエラーメッセージが表示された場合は、ローカル設定または E メールアドレスに問題がある可能性があります。

- サインインに使用するデバイスの日時設定を確認します。日付と時刻の自動設定を許可することを お勧めします。利用できない場合は、日付と時刻を既知の<u>Network Time Protocol (NTP)</u>サーバー に同期することをお勧めします。
- Eメールアドレスでフォーマットエラーを確認します。以下の問題は、 でサインインしようとす るとエラーを返します AWS ビルダー ID。
  - Eメールアドレスのスペース
  - ・ E メールアドレスのスラッシュ (/)
  - Eメールアドレスの2つのピリオド(.)
  - Eメールアドレスに2つのアンパサンド(@)

- Eメールアドレスの末尾にあるカンマ (,)
- Eメールアドレスの末尾にあるブラケット())

### パスワードを忘れてしまいました

#### 忘れたパスワードをリセットするには

- AWS ビルダー ID でサインイン ページで、E メールアドレスに AWS ビルダー ID の作成に使用 した E メールを入力します。[次へ] を選択します。
- パスワードを忘れましたか?を選択します。パスワードをリセットできる AWS Builder ID に関 連付けられた E メールアドレスへのリンクが送信されます。
- 3. メールの指示に従います。

## 新しいパスワードを設定できない

セキュリティ上の理由から、パスワードを設定または変更するときは必ず次の要件に従う必要があり ます。

- パスワードでは、大文字と小文字が区別されます。
- パスワードの長さは8文字から64文字の間でなければなりません。
- パスワードには、次の4つカテゴリから少なくとも1文字を含める必要があります。
  - 小文字 a∽z
  - 大文字 A〜Z
  - 数字 0~9
  - 英数字以外の文字 ~!@#\$%^管理ポータル\*\_-+=`|\{}:;"'<>,.?/
- 最後の3つのパスワードは再使用できません。
- 第三者から漏洩したデータセットを通じて公に知られているパスワードは使用できません。

## パスワードが機能しません。

パスワードを覚えていても、 AWS Builder ID でサインインしてもパスワードが機能しない場合は、 次の点を確認してください。

キャップロックはオフです。

古いパスワードは使用していません。

• AWS ビルダー ID パスワードは 用ではなく、使用している AWS アカウント。

パスワードが最新で、正しく入力されていることを確認しても機能しない場合は、<u>パスワードを忘れ</u> てしまいました の指示に従ってパスワードをリセットしてください。

# パスワードが機能せず、 AWS ビルダー ID の E メールアドレスに 送信された E メールにアクセスできなくなる

それでも AWS Builder ID にサインインできる場合は、プロファイルページを使用して AWS Builder ID E メールを新しい E メールアドレスに更新します。E メール検証が完了すると、 にサインイン AWS し、新しい E メールアドレスで通信を受信できます。

職場や大学のメールアドレスを使用していて、その後会社や学校を辞め、そのアドレスに送信された メールを受信できない場合や、 ビルダー ID にサインインできない場合は、そのメールシステムの管 理者に連絡してください。メールを新しいアドレスに転送したり、一時的なアクセスを許可したり、 メールボックスのコンテンツを共有したりできる場合があります。

### MFA を有効にできない

MFA を有効にするには、<u>AWS ビルダー ID 多要素認証 (MFA) を管理する</u> の手順に従って 1 つ以上 の MFA デバイスをプロファイルに追加します。

## 認証アプリケーションを MFA デバイスとして追加できない

別の MFA デバイスを追加できない場合は、そのアプリケーションに登録できる MFA デバイスの上 限に達している可能性があります。未使用の MFA デバイスを削除するか、別の認証アプリケーショ ンを使用してみてください。

### MFA デバイスを削除できない

MFA を無効にする場合は、MFA デバイスの削除 の手順に従って MFA デバイスを削除してくださ い。ただし、MFA を有効にしておきたい場合は、既存の MFA デバイスを削除する前に、別の MFA デバイスを追加する必要があります。別の MFA デバイスの追加の詳細については、「<u>AWS ビル</u> ダー ID 多要素認証 (MFA) を管理する」を参照してください。

# 認証アプリケーションを使用して登録やサインインをしようとする と、「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示 されます

Builder ID AWS がコードベースの認証アプリと組み合わせて使用するものなど、時間ベースのワン タイムパスワード (TOTP) システムは、クライアントとサーバー間の時間同期に依存します。認証ア プリケーションをインストールしているデバイスが信頼できるタイムソースに正しく同期されている ことを確認するか、またはデバイスの時間を、「<u>NIST</u>」やその他のローカル/地域など、信頼できる ソースと一致するように手動で設定してください。

AWS Builder ID にサインインしようとすると、「It's not you, it's us」というメッセージが表示されます。

サインインに使用するデバイスの日付と時刻の設定を確認してください。日付と時刻は自動設定に することをお勧めします。これが利用できない場合は、日付と時刻を既知の Network Time Protocol (NTP) サーバーに同期することをお勧めします。

### サインアウトしても完全にサインアウトされない

システムはすぐにサインアウトするように設計されていますが、完全にサインアウトするには最大で 1 時間かかる場合があります。

## まだ問題を解決しようとしています

<u>サポートフィードバックフォーム</u>に記入できます。リクエスト情報セクションの「How can we help, include that you're using AWS Builder ID」を参照してください。問題に最大限効率的に対処できるよ うに、できるだけ詳しく説明してください。
## ドキュメント履歴

次の表は、AWS サインインドキュメントへの重要な追加項目を示しています。また、お客様からい ただいたフィードバックに対応するために、ドキュメントを頻繁に更新しています。

・ 最新の主要なドキュメント更新: 2024 年 2 月 27 日

変更	説明	日付
<u>更新されたトラブルシュー</u> <u>ティングのトピック</u>	AWS ビルダー ID と にサイ ンインするための新しいト ラブルシューティングトピ ックを追加しました AWS Management Console。	2024 年 2 月 27 日
組織に関するいくつかのト <u>ピックを更新しました</u>	<u>ユーザータイプ</u> の更新、ユー ザータイプの決定の削除、お よび <u>ユーザータイプ</u> へのコン テンツの組み込み、 <u>へのサイ</u> ンイン方法 AWS	2023 年 5 月 15 日
<u>いくつかのトピックとトップ</u> <u>バナーを更新しました</u>	<u>ユーザータイプ</u> 、ユーザータ イプの決定、 <u>サインイン方</u> <u>法 AWS、AWS サインインと</u> <u>は?</u> を更新しました。ルート ユーザーと IAM ユーザーの サインイン手順も更新しまし た。	2023 年 3 月 3 日
<u>AWS Management Console サ</u> <u>インインの概要の段落を更新</u>	<u>ユーザータイプの決定</u> をペー ジ上部に移動し、 <u>アカウント</u> <u>ルートユーザー</u> にあるメモを 削除しました。	2023 年 2 月 27 日
<u>追加済み AWS ビルダー ID</u>	AWS 「 サインインユーザー ガイド」に AWS ビルダー ID トピックを追加し、コンテン	2023 年 1 月 31 日

ツを既存のトピックに統合し ました。

組織の最新情報

お客様からのフィードバック 2022 年 12 月 22 日 に基づいて、サインイン方 法についてより明確になるよ うに目次を更新しました。サ インインチュートリアルを更 新しました。用語とユーザー タイプの決定を更新しまし た。IAM ユーザーやルートユ ーザーなどの用語を定義する ためのクロスリンクが改善さ れました。

新しいガイド

これは AWS 「 サインイン 2022 年 8 月 31 日 ユーザーガイド」の最初のリ リースです。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛 盾がある場合、英語版が優先します。